京城日報

本社定價 (一ヶ月金七十五錢▲一部前金▲郵税共) 廣告料金 印刷人 小川三之介 發行兼編輯人 奧田直毅 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

十二月二十二日夕刊 (朝夕併せて八頁)

◇我陸軍部隊の殘敵掃蕩事績
極東露領に於ける
＝陸軍省發表＝

二十一日陸軍省發表＝極東露領に於ける帝國陸軍部隊の地域に於ては賊黨概ね慴伏屏息し住民漸く其堵に安んずるに至れりと雖も時に事を構ふるの鼠賊無しとせず、從つて我出動部隊の一部は其兵力に比して

▲過廣の地域を擔任し困苦缺乏に堪へ堅氷積雪と戰ひつゝあるの外、數次駐屯の地を離れて是が討伐に赴き日夜心身を休むる遑なし、而して十一月以來從事したる我殘敵掃蕩の事績中重なるものを列擧せんに

第一高橋枝隊方面

第十二師團高橋枝隊はアリハラ北方約十里の地點に過激派約三百名ありとの報告に接し十一月八日一個小隊を派遣して是を掃蕩せしめ十日更にボチカレチ警察部長の來報に依りて將校以下三百名をトムスク(ボチカレチ西方約一里)に派遣し

▲赤衛軍兵卒五名を捕縛し小銃五十二、彈藥、手榴彈若干を鹵獲せり(二)十二月五日砲二門機關銃二十五挺を有する約五百名の赤衛軍アリハラ(ボチカレチ東北十哩)附近に集合しアレキサンドラ(サルバカイ、ボチカレチの中間)附近に前進せんとするを知りボチカレチの守備隊よりサルバカイ方面に將校斥候を派遣せり、然るに同地方には時々若干の過激派出沒し襲行を逞うするもの々如きも別に大なる敵勢力に非ざるを確め該斥候は俘虜六小銃二十五を鹵獲して駐屯地に歸還せり(三)十二月四日サウイタヤ民兵五名は同地西北方約四里半のアムラノフカ村に於て過激派約三十名の狙擊を受けたるを以て五日早朝在サウイタヤ我守備隊より半個小隊を派遣せり

▲然るに敵は我前進を知るや悉く逃走せしを以て小銃三彈藥三十五を鹵獲して歸還せり、七日高橋枝隊より哥薩克將校の請ひを容れ我兵一個小隊哥薩克將校以下三十名は我將校の指揮に屬し再びアムラノフカ村に偵察の爲め派遣せり此の部隊は小銃三十七挺彈藥八百發を鹵獲し過激派二名を捕縛し九日サウイタヤに歸還せり(四)十二月十二日ウオスセイノフカ(ボスセフカ)驛西南四里附近に於て多數の武器彈藥を堆積しあるを知り我部隊を派遣して小銃四百挺彈藥一萬四千個を押收せり

第二丸野枝隊方面

(一)ウーグダ、ゼーヤ途上ウルガン西方約三里なるセルビュ附近に過激派の殘黨約百名集合しありとの報に接しウルガン及びオスウヤン守備隊より一部隊を出し是を偵察せしめたるも其の影無く偵察に赴きたる部隊は十一月十一日午後各其駐屯地に歸着せり

▲該地附近には過激派 (二)水藏討伐隊は十二月九日午後六時ボプラカ(ゼーヤ河本流右岸にしてダンブーキ上流二十里)を占領し俘虜約三十名を獲たり俘虜中にはサイドコー、シュトコフ、ビアモヤ及びオメライキン等數名の頭領あり戰利品は小銃約五十挺機關銃一挺彈藥若干にして我に死傷無し (三)ボプラカ水藏中尉十二月十二日發公報に依ればトスク(ボプラカ北方約十里ゼーヤ河右岸支流)附近に墺國俘虜軍の殘兵約二十名ありしも討伐隊斥候の前進するを聞くや北方に逃走せり

第三山田枝隊方面

ブラゴエチエンスク東方約二十里にあるイーニンスコエ附近に於ける住民は官憲の命に從はざる者多く狀勢不穩なるを以て在ブ市哥薩克將校以下二十名を該地に派遣せしめたるを以て山田枝隊よりも將校以下二十名を同行せしめ十二月十六日出發イーニンスコエ方面に前進せり(東京特電)

★新國務總理錢能訓氏 前清中翰より院より出で、御史となり荷末民政部右丞に任ず光緒三十三年徐世昌氏東三省總督となるや其參贊として盡するところ尠からず民國二年十月內務次長、三年五月政事堂右丞、四年十月平政院長に歷任し、五年七月辭職す、六年十一月段內閣瓦解後內務總長となり、段祺瑞國務總理辭職後代理總理となり今回正式任命さる年齒四十九歲

◇米講和會議要求
海軍卿ダニエル氏の言明

華盛頓來電＝米國海軍卿ダニエル氏はバルチモアーに於て或る人に語つて曰く米國は來るべき講和會議に於て領土及び賠償を要求せず米國は海洋の自由に對する保障を求め國際聯盟の成立を企圖すべし國際仲裁々判の命令を支持する必要上國際海軍の成立を要求すべし米國は各國民が武備制限の賢明なる態度に出づる迄は國際海軍に對し貢獻を爲すの覺悟無かるべからずと(東京特電)

◇支那海軍側主張
＝講和會議に於ける＝

講和會議に於て支那海軍側の主張として傳へらる主なる綱目左の如し(北京特電)

一、靑島を初め列國の租借せる支那港灣土地の還附を求むる事

一、渤海を公海として開放する事

一、支那海軍は幼稚なれば自衛の爲め列國の軍備縮少の制限內に網羅せられざる事

一、今後列國と交涉の際は土地及び港灣を租借の目的物とするを得ざる事

◇錢能訓總理任命

二十日大總統令を以て錢能訓氏を國務總理に任ずる旨公布せられたり(北京特電)

◎伊塞確執
英佛新聞の論調

ユーゴースラブ民族の獨立運動は其の後愈々熾烈となり十一月十日アグラムに於てユーゴースラブ國民委員會を開き塞爾維皇太子を國王に奉戴することに決したるが商同會議に於ては伊國がイストリヤ半島よりアドリヤ海に沿うて漸次ダルマチヤ方面に其手を伸ばさんとするに對し是れ伊大利の帝國主義にしてユーゴースラブ國を脅かすものなりとして攻擊論起り其の結果塞爾維國王に對して伊太利に向け抗議せられんことを要求し塞國王は十二月三日伊國政府に對し正式に抗議を試みたり此の伊塞の確執に對する英佛の新聞論調は

暗にユーゴースラブの主張を援助し伊太利の態度を非難する論もあり一方伊太利にては大戰前倫敦に於て締結せる秘密條約は將來伊太利のバルチック制海權を認めながら今更之れに反對するは其の意を得ずと論駁しつゝあるが要するに伊國の勢力增大は地中海に於ける英國の利益と衝突する處あり現に墺國艦隊の處分問題に關しても佛伊の間に問題を惹起したるが伊太利政府は何とかして其勢力をアドリヤ海の對岸一帶に扶植し以て其制海權を確固たらしめんとするの一念捨難く種々畫策中の模樣なり伊國王の巴里に米國大統領を訪問せると及び同大統領の伊國來遊を希望せるが如き是等の問題に就き米國の同情を求めんとするに非ざるかと推測せる向もあるが要する

◎最近日露貿易

日露協會の調査に據る日露貿易十月中の出入狀況を見るに輸出通計四百六十四萬一千八百四十五圓再輸出品價六萬三千二百六十五圓即ち輸出全計四百七十萬五千百十圓にして輸入通計二十七萬五百三十八圓

▲再輸入品價 九萬七千七百六圓即ち輸入全計三十六萬八千二百四十四圓を示せるが之を前月に比較する時は輸出全計に於て二百七十四萬八千九百餘圓の增加を來し輸入全計に於て二十三萬六千四百餘圓の減少を示せり而して本年一月よりの累計額を前年同期間に於ける累計額に對比する時は輸出累計に於て一千百十三萬七千餘圓を增加し輸入累計額に於て三十八萬三千七百餘圓の減少せり今當月中に於ける對露貿易の主要輸出入品に就いて見るに輸出に在りては玉蜀黍の九萬三千四百餘圓林檎の十三萬四千六百餘圓糖の六萬三千二百餘圓

▲藥材化學藥 及び製藥の十三萬餘圓綾木綿の十二萬六千餘圓綾フランネルの二十一萬一千餘圓生金巾及び生シーチングの十一萬四千餘圓其他の綿織布百十八萬七千餘圓羅紗及びセルヂスの十四萬餘圓毛織物の二十餘萬圓靴の三十一萬三千二百餘圓銅釦の九萬八千餘圓石炭の三萬四千餘圓鐵製品の五萬九千餘圓等其の主なるものにして輸入に在りては獸骨の九百餘圓鐵の十三萬二千餘圓雜品の十三萬五千餘圓等にして貿易輸出額の前月に比し著しく增加せるは日本軍の浦鹽上陸と鮮銀其他の活躍に依りて漸次彼の地の

▲秩序恢復し 從つて仕入貨物が增加したるに起因すべく世界の和平と共に對露貿易は漸次恢復することゝなるべし

◎輸送出米輸送

南滿沿線營業出米各驛にては除移出

◎聯國對露政策

聯合與國の對露政策につき其筋に到達せる諸方面の情報を綜合するに其の目的は過激派掃蕩、露國秩序の回復に在るもの々如し而して露國の目的のために出現せる政治團體はオムスク政府、キエフの小露政府、ドン附近エカテリノダール政府並に國外瑞典ストツクホルムに一團あり外にアルハンゲリスクの北露政廳あるも論ずるに足らず眞に運動の中心たる者は以上の

▲四箇團體 なりとす而して十一月下旬ヤツシに開かれたる英佛代表者及びドン、ウクライナ等の代表者の統一に關する會議は未だ其の內容を詳知する能はざるも大體是等政治團體の聯盟を作り徐々に統一すべく決したるが如し各政府の個々に就いて觀るに小露政府は獨墺軍の撤退と共に英佛の勢力增大し內閣の如きも英佛に由りて支援せられ居れり過激派は頻りにプロパガンダを行ひ暴力を用ひんとしつゝあるも力及ばざるもの々如く新政府は民軍八箇師團を組織せんとし資金は佛蘭西に仰ぐことに決せる由オデツサに上陸せる英海軍カースロツプ提督は二個中隊の陸戰隊を上陸せしめキエフに向つて

▲進軍中と のことなるが佛軍亦一軍隊を輸送中との情報あり主として佛國が斯の方面の秩序維持に熱心なるもの々如し次にドン地方に在りてはエカテリノダールに政府を樹立しアレキセーフ大將の歿後デニキン大將三萬有餘のドンコサツクを率いてドン地方及び高加索方面の勢力を以て一方ウクライナ政府と連絡を保ちモスコーに進軍せんとせるが佛國亦之に盡力せり國外の勢力としてはストツクホルムに帝政派一派ありて前司法大臣ブレイボフ其他相當の人物網羅し居れるが斯の方面には英國頻に應援しつゝありて最近英海軍のリガ灣に碇泊せるが如きも都合に由りては

▲斯の一派 を擁護して露國に進まんとの旨聞なしとせず更に北露及び芬蘭を見るにアルハンゲリスクの北露政廳は地理遠隔にして將來發展の見込なく芬蘭は獨立しマンネハインが獨裁官に就任し居れるも聯合與國は之を獨立國として承認するや否や疑問なり波蘭も新しく獨立を標榜せるが同國は講和會議に於て承認せらるゝと確かなるが如し最後にオムスク政府は英米によりて支援せられ居れるが極東シベリヤに於ける我日本の行動は英米兩國と感情の疎隔を招致し近來面白からざる情勢に在るもの々如くコ、セ兩將軍の確執の如きも內部には紛糾せる

▲國際關係 の伏在せるもののあるを察せらるゝが以上の如く露西亞の形勢は紛雜し居れるが標榜の一となり居れる過激派軍の狀勢は近來其の中堅たる農民及び勞働者に饑饉の情を誘發し孤影落日の感あり現に軍隊充實の目的にてアルハンゲリスク鐵道工事に雇用せる支那苦力三萬人を傭兵せるが如きは其の窮狀を語る者と云ふべし而して過激派はウラル戰線に約十一萬の兵力を集結し全力を傾注するに足らず若し我國にして殆ど問題とせば現在西伯利派兵の兵力にて鎧袖一觸モスコーに殺到するも容易なる可しと某軍事通は語れり(京城)

◎國債及借入金額
現在額九千百六十八萬九千圓

總督府特別會計所屬國債及び借入金總額は昨年九月末日に於て七千八百六十八萬七千二百八十圓に及べるが其內起業資金公債及び第一回五分利公債千四百一萬六千五百七十圓は舊韓國政府の起債に係り道路修築、海關工事、水道工事、金融及び官業資金、土地調査、教育及衛生設備等に使用し其他の國庫債券及び借入金六千四百六十七萬七百十圓は朝鮮總督府特別會計設定後朝鮮事業公債法に依り起債したるものにして鐵道の建設及び改良道路の修築海關工事等の諸事業に使用せしものなり而して大正七年度の事業費借入金起債は大藏省に於て募集中の五分利國庫債券ろ號總額五千萬圓(百圓に付九十五圓二十五錢)にて本年七月末日現在の調査に依れば內一千三百二十三萬五千圓の募入あり之れが全額は全部大藏省預金部に預入しあり之れにて總計九千三百六十八萬九千圓となる可き筈なるも本年は年度の始めに於て二百萬圓を償還したるを以て現在額は九千百六十八萬九千圓となり居れり

◎齋藤中將北行

北京公使館附陸軍中將齋藤季治郎氏は歸任の途次廿二日朝南大門驛通過北行せり

◎芳澤參事官來期

北京公使館參事官芳澤謙吉氏は家族同伴二十四日夜安東發列車にて二十五日南大門驛通過東京に直行する由

に本問題は講和會議に於いて幾多の曲折を見る事ならん

又は道外搬出の朝鮮產米穀及び大豆は各道所定の穀類檢查に合格したるものゝ外受託せず唯檢查指定地以外の驛に於ては內地移出直送の場合に限り之れを受託し釜山に於て檢查を受けしむる事となりたり

▼玄米中白米大豆 京畿道、慶尚北道、慶尚南道、平安南道、平安北道

▼玄米中白米白米大豆小麥 黃海道

▼玄米大豆 忠清南道、忠清北道

▼大豆 江原道、咸鏡南道、全羅北道、全羅南道、咸鏡北道

尚ほ檢查指定地以外の驛より託送する場合は發驛に於て荷送人をして延送狀記事欄に釜山に於ける檢查に關し一切の行爲をなす所の人の住所氏名を記入せしめ且つ不合格となりたる場合の處置は鐵道の指揮に從ひ尙ほ檢查の施行により生じたる損害は荷主負擔すること記の上託送を受くる事となりたり

◎殖銀と鮮人

銀行利用思想の開發に努力せる殖銀にては本支店を通じ鮮人の殖產銀行並に商業金融部とも各方面に業務を擴大せんとしつゝあり乃ち商業金融部にては遠からず倉庫營業をも營むべき計畫あり貸出も漸次增加しつゝ

▲貯蓄預金制 度並に金利の統一を斷行し各地金利の可及的平衡を得せしめ地方に上りては若干の利下げを斷行し更に勸業金融部にては各道金融組合聯合會との連絡を密接にし小額資金の鮮人融通に努力すべく更に拓地水利の大小資金貸出しより不動產金融方面の活動を大いに畫策しつゝあるが殊に朝鮮人方面に銀行の利用を普からしむる點に就ては積極的にその歩を進むべく重役間に於て

▲凝議中の模樣 なり而してその方法は(一)鮮人行員の採用未だ多からず殊にその前身たる農銀時代には重役は鮮人を以て充てられたるが擔當の方面に於て高級行員少くも支店長若くは次席格のものなきに付今後は漸次高級員たるべき鮮人を採用し行く事(二)鮮人は不動產を提供して金融の便を得る事を厭ふ傾きあるものあり之等の習性は一面に於て自己の債務を增加せざるに付可なりと雖も拓殖水利等の積極的施設の爲めに閑に附せらるゝ故に宣傳の

▲印刷物の頒布 等により手を煩はし若くば新聞の利用により鮮人の鮮銀予利用思想を開發する事其他の施設により鮮人側に新境地を開き出さんとしつゝあり

◎補助貨緩和難
小額紙幣來る

歲末取引の活潑と米豆出廻りの旺盛なるは小額通貨必要の度を高め各地を通じて不足の聲低からずため支部當局並に朝鮮銀行の國庫課にては頻りに大藏省及び日本銀行に對し小額紙幣の發送を要求しつゝあれど內地も不足の聲は同樣低からずと見へ請求に對する發送極めて少額なるが最近二十四萬圓の小額紙幣來著各地に分送したる由にて略小康を得たるべしと鮮銀當局にては語りつゝあり尚ほ朝鮮內に於ける小額紙幣は本年五月初めに發行以來目下の所約二百四十萬圓に上り居れりその他鮮銀補助貨の殘存推定約十六七萬圓硬貨約七百萬圓を下らずとの推察に補助貨の總額約一千萬圓見當と稱し得べく各人に於て出し惜しみをなさゞれば必ずしも不足を來さゞる筈なりと

◎浦鹽行滯貨

最近浦津浦鹽間の帆船航路は露領沿岸結氷の爲め航行不可能となり浦鹽行貨物は總て朝郵の浦鹽航路に依るの外なき事となれるが最近に於ける浦鹽行の越後丸竿瓊丸は釜山元山の積載にて同港より一個も積まざる爲め同港に於ける浦鹽行貨物は停滯に停滯して今や約六百噸に上れりと云ふ浦鹽行としては稀有の滯貨を見るに至れるが是等滯貨の大部分は正月用品なるを以て年內に到着せざれば商人として大打擊なるを以て是非共近日出帆の越後丸に積出さん意嚮なるが此の件に就て同地繁榮會より朝郵本社及び釜山元山の兩出張所に宛以上の事情を陳べ是非共次航越後丸の艙腹を都合して此等滯貨を排出すべく依賴したりと

◎鮮銀總裁歸期

美濃部鮮銀總裁は二十二日夜歸任の豫定なりしも同朝釜山上陸の報來らず多分途中に下車せしもの々如きに付その歸鮮は二十三日朝若くば同夜ならん

哈爾賓より
大町桂月

拜啓十二月十二日哈爾賓驛頭に伊藤公を弔ひ申候、沖橫川二烈士を弔ひ申候、松花江の大鐵橋を渡り申候、日、支、露の兵嚴重に此の鐵橋を守備致申候、然し夜間露兵は步哨に出でず支兵は出るには出でゝも哨舍に籠り獨り日兵のみは、雪ふらぬ限りは、決して哨舍に入らず寒風に立ち盡し申候、この橋を渡るには渡橋券を要し申候、然るに日兵來るに及びてよりは日本人ならば渡橋券なしに渡りても支露の兵咎めざる由に候、日本兵の威力亦大なる哉

凍る河走る群馬の息の雲

八面鋒

◇數日前まで獨逸の怪腕やら飛行機やらに劫かされ、悄々不安の裡に在りし巴里市は、休戰以來修羅の巷は俄然として極樂淨土に化し時に講和會議の近づくに從ひ、各國より入込むもの非常に多く、各國の特使並に隨員のみにても一千餘を算すべく、其他政治家實業家觀光客等踵を接して集中せんとし、各ホテルは今や外人を以て充滿しつゝあり。

◇或向の豫想する所に依れば、講和會議開會と共に巴里に來集する外人は五十萬を超越すべく、之を收容する準備に關し目下おさおさ怠りなしといふの有樣、何にしても非常の事出度限りなり、佛國人が有頂天になり居るも、更々無理ならず。

◇巴里市廳は是等外來人の便を圖らんがために、市街の四辻に各國の通譯を配置し、赤毛布の迷ひ子を出さぬ用心、さすがに社交の中心たる場所だけありて、眞に行き屆きたる仕打なり。

◇戰亂中に獨逸潛航艇のために擊沈されし本邦船舶は、都合三十三隻なるが、內社外船二十八隻の損償を求むるの協議を爲したるが其の總金額一億三千萬圓、但しそれが取れるか、取れぬかゞ問題、若し取れぬとならば、獨逸の船舶を以て之が埋合を要求するの鼻息頗る荒し。

◇ボロ船を以て莫大の利を占めたる彼の船成金共は、沈んだ船の幽靈を擔ぎ出してまで、モ一儲けする氣、慾には限りなきものと見ゆる。

◇支那の孫洪伊は又復廣東の舊國會及び軍政府に通電を發し、段祺瑞、徐樹錚、倪嗣冲、張作霖等を懲罰すべしと說き、此の問題を解決せざれば、如何なる國策を議するも必ず禍根に歸すべしと痛論せりとやら。支那の南北和平は、先づ此の手合の口を箝するが第一急務なれ。

正月のお仕度は出來ましたか
正月の料理と其の儀式作法と裁縫が覺えられる

■樂しきお正月 目出度きお正月は樂しく暮らさねばならぬ。我が國には正月を迎ふるに國粹の美風たる一定の法式がある。この法式中最も大切なるは、正月の儀式作法と、其の料理とである。正月の儀式作法を心得て、正月に適する料理を一家の食卓に上せて、來客の酒膳に美味を供すれば、和氣家に滿ちて、目出度き正月を必ず樂しく暮し得るのである。

■板垣伯夫人 主宰の「家庭料理講義錄」は、其の正月號にて最も多くこの點に留意し、正月用の料理を蒐聚し、其の儀式作法を詳しく說いてゐるから、今左に其の內容の大略を紹介しやう。

◆正月の儀式作法 ▲門松▲注連飾▲蓬萊▲鏡餅▲若水▲屠蘇▲雜煮▲恵方▲寶船▲七草▲鏡開等に關する正月の儀式作法を詳細に講義し

◆三ケ日料理 正月三ケ日には如何なる料理を供すべきかを說き、其の料理法を詳し

◆雜煮餅調理法 正月に缺くべからざる雜煮餅の美味なる種々の料理法を說き

◆正月重詰料理 正月に無くてはならぬ重詰の料理法を講義し

◆勅題御料理 勅題の朝晴に因んだ珍らしい島臺盛りの料理を、素人にも出來る樣に講義し

◆正月會席料理 上方風に趣向を凝した會席料理が講義され

◆餅腹に適する料理 ▲鯨の美味しい料理▲溫い豆腐料理▲鷄卵料理▲鯉の珍らしい料理等、所謂正月の餅腹に珍重される種々の料理が講義され

◆新年用の菓子 新年に適する珍らしき菓子の製法があり

◆新年用西洋料理 ▲正月用の滋味▲晝食の獻立▲新年宴會の獻立▲佛蘭西料理等、新年用の西洋料理が種々講義され

◆正月用支那料理 日本人向の正月用支那料理があり

◆經濟料理 時節柄一讀を要する料理法が講義されてあります

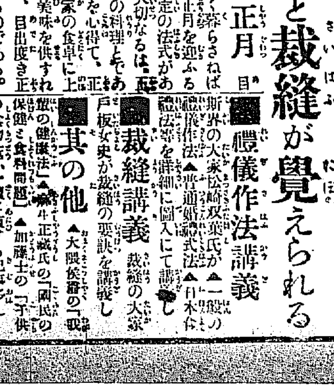
斯く正月用の料理と其の儀式作法とが滿載されてあるばかりか

■禮儀作法講義 斯界の大家松崎双葉氏が▲一般の禮儀作法▲普通婚禮式法▲日本禮法等を詳細に圖入にて講義し

■裁縫講義 裁縫の大家戸板女史が裁縫の要訣を講義し

■其の他 ▲大隈侯爵の「國民の健康法」▲加藤正義氏の「國民保健と食料問題」▲加藤士の「子供の食物」等、一讀に値する記事多し

◆女子必讀の講義錄 同講義錄は單に正月號ばかりでなく、每號斯く料理と禮儀作法と裁縫とを講義し居れば、女子必讀の講義錄と云ふべきである。



■入會の好機 同會は正月號より新學期を開始せんとし既に正月號も出來して目下會員の大募集中なれば、今が入會の好機である。入會手續簡單にて「ハガキに講義錄送れ」と書いて申込めば、直に會員として每月送る。會費は一ケ月分四十錢。六ケ月分二圓二十錢。一ケ年分四圓二十錢である。

■送金の便法 會費は前納するが利益なるも、送金を面倒と思ふ方には、集金郵便の便法がある。この法は入會を申込めば直に會員として講義錄を一冊送り同時に二ケ月分の會費(集金手數料共八十五錢)を其地の郵便局の手を經て集金し、次號は翌月送り、斯く二ケ月目每に二ケ月分宛の會費を集金に行くのです。

■大特典有り 此際の會費前納者には「家庭寶典」を進呈する外、六ケ月分の會費前納者には入會金を免除し「理必携」を進呈する外、一ケ年分の會費前納者には、新「パン製造法」及び記念メダルを進呈し、本會出版の圖書を三割引にて購入する特權と、附屬割烹學校にて一ケ月間無月謝にて講習の出來る特點を與へます。

▽內容說明書進呈 內容說明書入用の方へは申越次第無代進呈します。

東京市本郷區 東京割烹女學校 振替口座東京 電話小石川

▲製本既に出來し居れば ▲一刻も早く入會せられよ

大正七年一月一日改正現行

◇兩陛下御避寒期

王世子殿下御結婚式後御發輦か

天皇陛下の御精勵は申すも畏き限りなるが侍醫其他は明年十八日の宮中に於ける新年歌御會始め後葉山御用邸御避寒行幸の儀を奏請すべく御聽許の上は皇后陛下御同列にて四月上旬まで御駐輦あらせらるべく内閣は臨時出張所を御用邸內に置き內閣書記官一名出仕上奏書類裁可書拜受に任ずべく尚東宮殿下には年末若しくは明春早々沼津御用邸に、淳宮殿下には本月末葉山御用邸附屬邸に、二皇子殿下には熱海又は小田原御用邸に何れも御避寒あらせらるべく尤も兩陛下御避寒の儀は二十五日の李垠殿下の御結婚式後御發輦相成るべきかと拜承す

◎講和會議を迎へて……

小村侯爵 暗然として

=外交官の名譽ある悲哀を語る=

◆官邸に群衆せまつて火を投げる

『講和會議もこう〳〵近く開かれることになりましたね……。こころが此の講和會議こいふことを考へる度に、私は思ひ出すのであるが、其れは今から恰度十數年前のポーツマスの日露講和會議の時のことです……』こ冒頭して當時の講和全權特派大使小村壽太郎氏の令息にして、今は時めく外務省第一課長小村欣一侯爵は、一夕或る會合の席上、長椅子に身を凭せながら語り出すのであつた。『然うだ、私は未だ當時は學生の身で

▽下宿屋」に居つたのですが、外務省の官邸に隨分怪しの手紙などが舞ひ込んで、何こなく講和會議に對する國民の不平の聲が起り初めて來たのです。私は或日學校の歸りに官邸へ行つて見ました、官邸には母こ妹が居りましたが、私の行つた其の夕方でした故名の警官が慌たゞしく馳け込んで來て、今や群衆が外務省を襲はんこして押し寄せて來てゐるこを告げたのです。そして兎に角窓をすつかり締た方が好いさいふ。いふが僅に先づ窓を鎖して、外の形勢を窺つてゐるこ、間も無く一團二團こ、潮の如く押し寄せてくる群衆は

▽鬨の聲 こ共にだん〳〵大きくなつて來た。そして石油を注いだ榾柮に火を點け無數に邸內へ投げ込むのです。其の數の夥しいこごは甚いもので、其れを見ても早くから用意をしてゐたとが想像されたのですが、然し其の火は外から投げ込んだのでは建物までは到底屆かなかつたのです。警戒の巡査は何處か穴車はないか、地下室は無いかこ騷ぎ出した。何うするのかこ思つて居るこ家族を非處へ避難させなければならないのださいふ。邸外の群衆は尙ほ盛に叫ぶ聲――鬨の聲は天地も揺がんばかりでした。時に一警官は急を告げて、どうやら群衆は邸內へ入り込んで來たやうであるこいふ。電話はシツキりなしに懸けられてゐる。警戒は出來るだけ嚴にしようこ努めてゐるが、形勢は愈危險になつて來ました。群衆は遂に私達の居る建物の直ぐ窓の下迄押し寄せて來た――此の時分はもう日もごつぷり暮て七八時頃であつた。――母こ妹は、此の時は別に穴車も無く地下室も無いので、恰度其の當時住宅こ離れて建つてゐた臺所へ避難してゐたのでした群衆は既に窓を破壞しようこいふ所迄其の

▽暴行の 段取は進んで來た。かうなつてはもう人命さへ危い。群衆こ闘ふには餘りに微力でした。』こ云つて侯爵は唾を飲みながら、一座の人々を見廻して、『然うだ!恰度其時刻でした。一隊の衛の軍隊は、此の怪獸のやうに驟れ狂ふ群衆を鎭めるべく遣つて來たのです。然し群衆は、軍隊を見ても、些こも怯む氣色はない無論解散しやうこもしない。徒に猛り狂ふのです

▽軍隊は 遂に銃劍を持つて突貫せんばかりの態度を示しました。其でも群衆は遂に怯む毛色もなかつた。然し軍隊の嚴めしい態度は、だん〳〵群衆の團結を崩されさせずには置かなかつたです。そして此れ以上の暴行は爲し得ずして此晩は鎭まつたのです。』

◎特使の宮 御著は……

=七日か=

西伯利丸御乘込?

英國皇室御訪問あらせられる東伏見宮殿下には十七日桑港に御安著あらせられたるが十八日同港出帆來月四日横濱入港の豫定なりし東洋汽船

◇西伯利丸 は此程俄に横濱入港を來月七日に延期されたるより、東伏見宮殿下には多分同船に御乘込み御歸朝遊ばさるゝならん旨、同會社横濱支店に入電ありたるこ察せらる右に付東洋汽船横濱支店にては未だ確報なけれども

◇四日入港 の豫定なりし西伯利丸が七日に變更されたるは或は宮殿下御乘込の都合上延期されたるにはあらざるかこ思はる(横濱電話)

◇巴里著の伊太利皇帝エマニユエル三世陛下◇

◎憲法發布 卅年祝典

來春盛大に擧行

帝國に憲法發布ありて以來既に三十星霜を經た幾多の隆替曲折はあつたが日進月歩の世界文化につれて著々憲政の美は擧がつて來た、之を卅年前の當時に比べて全く隔世の感が起る、今や世界平和の聲こ共に大盛典の記念祝賀を開催する事は國民こして最も誇るべく慶賀すべき事であらう、貴族院に於ては既に十七日の委員會に於て衆議院こ打合協議會を開き衆議院に於ても最近各派交涉代表員を選び、先づ政友會には元田、岡崎兩總務、憲政會では藤澤總務、國民黨では前川幹事、新政會では木下謙二郎氏などが其任に當る事こなつて居る、之に正副議長及び寺田書記官長が加はつて愈々具體的案に就て討議研究する筈である

◎横井小楠頌德碑に……

=御下賜金=

明年一月五日は横井小楠遭難滿五十年に相當するより之れを記念すべく熊本縣有志間には發て小楠の墓側に頌德碑を建設せんこの議ありたるが右の趣き天聽に達し十九日 聖上陛下には金百圓御下賜の御沙汰あり、右につき同日内大臣府秘書官北村信篤氏は委員長安場男に代つて御下賜金を拜受せり尙ほ小楠の墓は熊本縣上益城郡秋津村に在りこ

◎詠進歌假綴

應募既に一萬

勅題詠進歌は年內に詠進し得る事になつて居るが昨今の模樣に就いて遞信御歌所錄事は語る『詠進歌は毎年三萬以上の應募を見るが大體に於て本年も同樣であらうこ思はれる既に今日迄應募した數は約一萬に近く目下四冊製本をやつて居るが此假製本は百枚を一冊こするので廿二日の日曜までに集まつた分丈の四冊本を濟まし今週月曜日には御歌所の主事以下各寄人參集の上下見に著手する筈である』

◎クレマンソー暗殺陰謀

佛國々境にてレーニン派の配下二名逮捕さる

瑞西ローザンヌにてレーニン派に屬する過激派はクレマンソー(佛國首相)暗殺陰謀を企て二名の過激派は右遂行の爲め佛國々境を越えんとせるも遂に逮捕さる(巴里電報)

◎時津風廢棄

去る四月坐礁せる驅逐艦時津風は新造艦の事なれば出來得る限り努力して浮揚せしめんこせしも成らず只機關其他を引揚げ艦體は洪棄したるが其後代艦を建造して時津風の艦名を繼承の議出でしも協議の結果廢艦こし帝國艦籍より削除されたり之れこ同時に責任者は軍法會議の取調を受け今は判決ある事を謹慎して待ち居るのみ吉村法務長は爲めに海軍省に出張し打合せ中なり(呉)

◎毒瓦斯發射演習

=京都府下長田野にて=

◇梨本師團長宮も御見學

生物に及ぼす害毒調査、防禦法の研究に於て第一回試驗を行へる臨時毒瓦斯調査會にては今回新に京都府下天田郡長田野に於て五日より委員長內山工兵大佐は鈴木同少佐以下係員を隨へ福知山に來て毒瓦斯發射試驗準備を整へ十六日發射を行ひ十八日より本演習を開始したるが其目的こする所は噴射機より毒瓦斯發射の狀況

◇生物に及 ぼす害毒の程度の調査こ之が防禦法の研究にて高地に十米突の間隔を以て噴射器を並列し風力を利用して低地に發散するものにて各距離に於ける瓦斯濃度の制定より動物の受くる害毒、焚火に依る防毒、防禦陣地に於ける防毒法など頗る嚴密に研究さる、筈なりこ之が爲陸軍省よりは島川技術審査部長

◇參謀本部 よりは菊地課長山田工兵大佐出張し尙林田事務課長(第十六師團)金久保第十師團長等順次出張したるが或は梨本第十六師團長宮殿下にも御見學遊ばさるべしこ單一齊陣地蒲團射演習中は工兵隊は毒瓦斯を潛つて勇敢に作業をなすこ(福知山)

◎長坂の供養

白骨會

釜山智恩寺にて

蔚山白骨事件の犯人長坂七太郎は去る十四日西大門監獄にて死刑を執行されしに對し當初より義俠的に其辯護の任にあたりたる佐々木清綱氏は廿一日午後四時半より釜山大廳町知恩寺に於て七太郎の冥福供養を行ひたるが列席者は此の事件に筆を執りし記者にして近來になき珍法要なりき一同は供養後佐々木氏宅にて第二回白骨會を催したり

◎宇佐美上告

十八日長崎控訴院にて判決ありたる九管濱崎被告宇佐美寅藏外四名は十九日上告の手續を爲せり(時事)

◎院友の爲に

美術院同人見舞の製作

美術院研究會員にては同院の事務主任たる日本畫家田中涉月氏(三三)は去る十月六日より肝臟癌石病に罹り戶山醫學士の診察を受けて療養中なるが昨今重態に陷れり右につき美術院にては同人院友合せて五十餘名各自揮つて製作を爲し見舞こして兩三日中同氏へ贈呈する事になれりこ(東京)

◎奔馬女を殺す

十八日午後五時頃府下巣鴨町字池袋運送業山中六之助(三八)が空荷馬車を曳き小石川區水道橋を通行中馬は電車の音響に驚きて暴れ出し馬士に重傷を負はせ春日町方面に向つて逸走し通行中の掃除婦石井かね(三三)を轢倒せしが漸く取押めたるもかねは同夜八時遂に絕命せり(東京)

歳の餅 御調いたします=二十二日市內所見

◎呪ひの……

藁人形

この寒い眞夜中に 釘を打ちに來る

廿一日の朝京城神社境內稻荷神社のあつた横の老松に子供を背負つた約二尺位の女の藁人形が五寸釘を以て胸こ頭こが打ち付けられてあるのを神官が發見して直ちに取去つたが是れは聞くだに身の毛のよだつ呪ひの藁人形が昔の儘に白衣を著て頭に三本の蠟燭を燈し

▲一本齒 の下駄で胸に鏡をブラ下げ呪ひの釘を打つ邊りを打振りながら草木も眠る丑滿時『己れ』『己れ』でやつて來るか何うかは見た人がないから判然しないが何しても大正の今日未だコンナ馬鹿氣た事があるかこ思へば情ない限りであるその藁人形は子供を背負つて居るこ云ふのに既に一種の好奇心を唆るが而もご丁寧に

▲繪姿迄 添へてあつた是れを以て考へて見るこ呪はれる人は親子で呪ふ人はその親子を呪ひ殺して後釜に箝まりこまうこ云ふ淺ましい女らしい女は天張り夜の二時頃あの淋しい山越をして來るらしいが此寒い師走にゴ苦勞樣だこ物笑ひの種こなつてゐる

◎京城の神前結婚

年をふて益々盛んになつて行く

今年中に五十組以上

『高砂や……』を祝詞に代へた神前結婚、それは結婚シーズンに入つて殆んこ毎日のやうに打ち續く京城神社の社務所について訊くこ京城で神前結婚が盛んになり出したのは大正二年頃であるが爾來年を逐うて益盛んになつて行く傾向がある、殊に今年は非常に多く一月からこの二十二日までに

▽五十組 の結婚があり十二月に入つてからでも既に六組ばかりあつた、是を月別にして示すこ

一月二組▲二月一組▲三月六組▲四月七組▲五月五組▲六月二組▲七月三組▲八月五組▲九月四組▲十月三組▲十一月七組こなる

十二月は前に擧げた通りであるから略すこして何んこ云つても一番

▽多い時季 は春三、四、五月こ秋から冬へ跨つた十一、十二月であるが今年は何故か暑い眞つ盛りの八月に割合に多かつた抑も此神前結婚こ云ふものは高木兼寬男か誰か、我族方が皇室婚嫁例によりて賢所大前で御婚儀を擧げさせられる例に倣つて出雲の大社で結婚式を擧げたのが濫觴だこ傳へられて居る、眞疑はさておき其後

▽日比谷の 大神宮で結婚式を司どる事になつて俄に盛んになり本家本元たる出雲大社のおさへも悉皆奪つて了つたものである

式場には神殿を使用するのが本來であるが神殿では普通の參詣者が見をする處もあり、殊に此京城は寒いので京城神社では特に社務所內の廣間を式場に充當して居る

▽式の次第 は先づ新郎新婦媒酌人其他列席者が夫々定めの位置に著くこ神官の修祓式があり次いで

降神式▲神饌供進▲祝詞奏上▲誓詞(媒酌人)▲三々九度▲玉串奉獻(神官、新郎、新婦、媒酌人、列席者の順)▲撤饌▲昇神式を行ひ昇神の式を以て全く終了するのであるが此間四十分乃至一時間頗る森嚴且つ莊重を極め新郎も新婦も一點

▽曇りなき 崇高な心持になつて神の御前に額きつゝ、多幸な生涯を誓ふ事が出來るのである、それで敬神家こ云ふ程でなくも嚴格な家庭は皆言ひ合はしたやうに神前結婚を選ぶやうであるが是は他の結婚式にくらべるこ費用も割合に廉くつき唯神饌料こして十五圓乃至二十圓を奉獻すれば好いので京城では最近官吏の間に非常に是が流行し五十組の大部分は官吏で占めて居るこ云ふ

須磨子と抱月氏の『死面』

◎松井須磨子が引退したい

=こ云ひ出たが諭示されて思留つた

先生の死面が眼について……

藝術座主松井須磨子が藝術座を解散して劇界を引退するらしいこの噂が立つた、噂ばかりでない須磨子に最近その氣ざしのあつたのは事實で、この程須磨子は同座脚本部主任中村吉藏氏や松竹會社の大谷氏其他を訪問して『正月の有樂座を引退興行にして下さい』こ申込んだが各氏の

▽說諭に遭 ひ兎も角も三日の舞臺を謝うて、考慮することにして引込つたさうであつたが、漸く引退を思ひ止まつて、從前通り藝術座を續けて行く決心が付いたらしく、その心持を語るのは『妾、つい氣弱で、逃上勝ちだから迷つてゐる所へ、一昨日(十六日)横須賀から歸つて雜司ヶ谷の抱月先生のお墓へ詣つて見るこ、言ひ付けて置いたのに不在中には誰も參らなかつたか、供花が萎れたまゝになつてゐて、一人淋しい思ひをさせたかと思ふさ、悲しさが一しほで之まで妾が役者をして居るから

▽墓の守も 出來ない。いつそ此際芝居を止めたいこ一途に思ひ詰めたのです、それに横須賀興行の時も、妾の扮役のマーシャが『妾は何故かう泣き蟲になつたんでせう』こ云ふ白があるこ、大向ふから『抱月が死んだから』こ聲が掛るこ、涙が止め度なく出て不圖相役フェージャの顏を見るこ頰髯が眼に付いてそれが先生の髭が殘つてゐる死面を思ひ出させて泣くこ『諦めろ』こ又聲がかゝる、然し憾思ひをしても舞臺は續けねばならぬ、それやこれやを思ひ合せて暫らく劇界を引退し、墓の守でもし乍ら研究だけを續けて兎も角も決心が付く迄

▽忍びたい こ思つてゐました、中村さんや大谷さんも此際引込んではいけないから止めて下さいますし、妾も思ひ返して續けて見る氣になりました。女は全く駄目ね』、何かにつけて迷ひがちな須磨子は、抱月氏こ云ふ柱を失つた須磨子は、かくも頼りなげな舞臺を踏んでゐる(京)

◎工藤課長夫人

總督府總務課長工藤壯平氏夫人政子は廿日午前一時死亡せり葬儀は廿四日午後四時三十分南山町本願寺に於て執行の筈

◇警察の窓から◇

◇年末に於ける注意の數々

一、火氣の取扱に……
二、外出の際の懷中物に……
三、盜難豫防に……
四、玄關先の靴マント等に……
五、來訪者の呼聲に……
六、幼兒を手放して遊ばせぬやうに……
七、右側通行嚴守に……
八、戶締は嚴重に……
九、店頭の掻つ攫ひに……

◎溫突の破損から

二十一日午後十時四十分明治町二丁目二番地洋服業吉田秀之助方より出火し同家一戸を全燒せしが原因は本日朝刊所報の如くなるが出火の原因は溫突破損の箇所より漏火せしものゝ如く損害は約一千圓なり

四溫日和

二十日花房から步き出した三代目の非奴は三千五百圓の妓こして一寸粹界の問題こなつてゐる、今は仁川の某酊人に落籍されて居る其の品之助が昨冬入道より住み替へて來た時二千圓の身の代は京城初めてじやさ言はれたものだが、それから滿一年の吉之助より一千五百圓も高い妓が今頃又現はれた事が▲三年三千五百圓一年約一千二百圓、一月百圓の妓だ、一日だつて遊ばせて置けないこ云ふ女將の胸算用からであらう、十九日夜の九時頃南大門に下車した二十日からもう千代本に現はれた▲此妓は大阪南地で聞こえた富田屋でも中以上の部類に屬した六こ名乘つてゐたさうで、年は十九、生れは名古屋、艶は小さい時から浪華で育つてゐる、猶石に本場でもまれて來た妓だけ總て垢拔けがしてゐて京城の妓を顏色なからしめて居る、顏も整つてゐるし、しとやかな怜悧な妓こいふ唯少し背が低い

夜勤給仕入用

本社編輯局夜間勤務給仕一名入用(但し當地に父兄無き者は相當の身元引受人を要す)

京城日報社

◎安東縣より

◆合長白山縣支部設置の件は廢て安東領事館へ認可申請中の處去る十[illegible]

▲公人私人一束 京城へ出張中なりし大倉安東製錬所長大谷新平氏は[illegible]大連へ出張中な[illegible]約一倍七分の割[illegible]

▲氷海通交頻繁 鴨綠江の水結凍[illegible]去る十五日より[illegible]

◎東拓記念會

◆廿一日奉天支店[illegible]

◎慶北の樹苗配附數

慶尙北道に於て樹苗配附規則に依り本年度に於て各[illegible]

栗 [illegible] アカシヤ [illegible] 山赤楊樹 [illegible] ポプラ [illegible] 合計 [illegible]

[illegible]

天氣 晴れ

[illegible]

謝出火御見舞

昨夜失火の際は速かに御馳付け消防に御盡力を辱ふし附近に類燒を及ほし候も以御蔭直ちに鎭火致候段全く掛官廳及び消防各位の御盡力こ奉深謝候猶町內各商家を騷がし非常なる御迷惑を相掛け候段恐縮の外無之御見舞被下候各位に對しても一々拜謁御厚禮可申上の處混雜中乍略儀以紙上不取敢御禮申上候

京城明治町二丁目一番地 吉田洋服店

謝近火御見舞

三菱製鐵株式會社京城出張所

京城明治町二丁目四番地

冬の 魔法瓶 は 旅行の 旅行鞄

旅行具專賣 岩田鞄店 京城本町二丁目 (電話九五四番)

昨夜火災の際は早速御馳付御盡力被下難有奉感謝候一々拜趨御禮可申述筈の處混雜中御尊名御伺ひ洩れ有之哉も難計乍略儀以紙上御禮申上候尙御蔭を以て營業には何等支障無之候間倍舊御引立の程偏に奉願上候

仁川內里 和洋雜貨貿易商 鬼頭兼次郎 電話長六六番

▲特價提供▲

スコツチ製◎子供マント(襟天鵞絨付キ總ネル裏) 丈二尺一寸 特價金八圓也 丈二尺四寸 特價金八圓五十錢

スコツチ製◎厚司(丈三尺二寸)(丈三尺) 特價五圓八十錢 送料十八錢

出來合品多數

以上百枚ヲ限リ上記ノ破額値段ニテ提供仕候

朝鮮京城府 合資會社京城日報社代理部 電話六〇九番構內十八番 振替京城三〇〇番電略(ケ)

大利益ある良副業

政府奬勵の緬羊飼育

▲農商務省では三年來外國から緬羊を輸入し北海道、栃木、千葉、福島に飼育した結果何れも好成績を得たので緬羊を無利子で貸下げ其飼育を奬勵してゐる▲緬羊は小舍內に養へ其毛は各毛織物會社で喜んで買入れるが殊に陸軍省でも盛んの爲め買ひ上げ一頭分の毛でも小包で送れば買上げて與れる▲それで緬羊一頭飼ふだけの飼料あれば馬[illegible]は僅に八頭迄は五六十圓八頭では五百圓近くの大利益が得られるから農家の副業として之以上の者はあるまい▲東京神田表神保町大日本畜產研究會發行の最新緬羊講義錄を見れば其飼育法は勿論緬羊貸下願手續毛皮買上願等まで詳細に指導してある入會希望の者はハガキにて申込次第說明書規則書を送呈する。

▲薪 ▲炭 山成德用品
▲新明太子 樽入り內地土產
▲石油各油 卸小賣

貿易雜貨商 京城本町三丁目 今藤富國太郎商店 電話長三〇八番 電話(二)九〇二番 振替京城一七七八番電略(ク)又ハ(フ)

○朝鮮と輸送能率

米國製其他の新機關車二十一輛

…遺憾なるは滿洲の設備に餘りに貧弱なる事である…

朝鮮鐵道運送力増加の爲め出張して大連に赴任せる滿鐵會社運輸監督長の談に曰く（大連）目下朝鮮線は夜行客車休止中にして一般に軍隊及び軍需品輸送の爲めと思はれ居るも實は然らず朝鮮鐵道としては非常なる滯貨を生じたるを以てこれが一掃法として其一部分は夜行客車の運轉を休止する事となれり朝鮮鐵道は久しき間官營となり豫算の制肘を受け居たる結果極めて消極的方針に出でたる爲め旅客と貨物とを運搬すれば足れりと爲し居たるが

近き世界に於ける

經濟上の大勢は朝鮮をも驅つて其の永眠より覺醒せしめあらゆる產業の發達と爲り特に近來米價の騰貴と鐵道支線及び輕便鐵道等の敷設線の延長敷設等の爲め輸送業務多端となり加ふるに軍隊輸送及び石炭の輸送は一增朝鮮線の輸送力を逼迫せしむるに至れり今日に於て俄に朝鮮に於ける鐵道港灣の施設が

半島的小規模にて

大陸の咽喉たるべき永遠の政策に出でざりし事を非難するも及ばざる事にしてた〻滿鐵會社は應急施設として極力朝鮮線の輸送力を增加する事に努力し沙河口工場に命じて機關車九輛を建造せしめ更に米國に十二輛の機關車を註文したるが之等二十一輛の機關車は何れも朝鮮線に使用する筈にて遲くも明年二月頃迄には米國註文の分も廻着運轉の筈にて

新造機關車廿一輛

の增力を見るに至るべきが目下朝鮮線に運轉し居る機關車中には既に老廢使用に堪へざる物亦尠からざるを以て新機關車の運轉と共に直ちに夫れ丈け現今より運送力を增加するものなりと爲し難き理由あり此の他輸送上の調節としては從來の長距離輸送貨物の運賃

遞減法を撤廢し

各段階の港灣より海運に由らしむるの方針を取りたり釜山の如きは之れに就きて異議ある模樣にて商業會議所の如き種々論議し居れるが之れ釜山の在住者が近時の經濟的大膨脹の大勢と釜山港の設備との點に想到せざるこにて從來朝鮮鐵道は貨物の吸收策に焦慮し其結果長距離運賃遞減及び三線連絡等の諸策に出でたるも

今日より之れを

見れば實に隔世の感あり今や沿線到る處滯貨に苦しむ處なく釜山港の如きも今日の設備の數倍乃至十倍するとも猶ほ滯貨に苦しむべき如き日の遠きに非ざるべし要するに港灣は其施設如何に由つて盛衰するが通例にて今日京城以北に在りては

釜山仁川等より

輸出するよりも急を要する貨物は大連を經過する方捷速なる場合尠からず之れ釜山港の如きも更に根本的港灣施設を要し半島及び大陸の開發に資すべき方策に出でざる可からざるなり更に石炭の輸送は成るべく

大連より仁川に

直路輸送し更に鎭南浦釜山等に例送し成るべく鐵道運送を輕減せしむる事となり此の如く各驛に於ける貨物保管期限を短縮し其の停滯を拒み場合に由りては更に保管上の改善を圖り極力輸送力の充足を計畫し居る次第なり

○明春の好景氣豫想

奉天に於ける建築界其他の繁榮

滿洲建築會社奉天出張所島田某氏を訪ひ明年の建築界如何を問へば曰く（奉天）

恐らく本年以上

に繁昌すべしと先づ冒頭に置いて扨て曰く近來休戰條約が締結されたとか講和會議が開かれるとかで世の中は大分紛紜して來て藥品染料などは相場は勿論實際の取引價額さへ非常に下落して來たと云ふ事であるが建築材料などは明年とて決して大差はあるまいと思ふ

木材と煉瓦は強氣

のみで決して下落し相にも思はれないのみならず先づ奉天としての小天地を論ずると或は値上げをせねばならぬかも知れぬ、が其の他の金物や硝子類及び工賃は多少の落を見るかも知れぬ……否當然下落するだらう……が建築の主要材料が下落せぬ以上決して建築費が低價する事はあるまい、で明年度奉天に於ける建築物を豫想して見ると

滿鐵を筆頭として東拓や朝鮮銀行

や東省實業乃至は公會堂等指を屈すれば殆んど數へ切れぬ程ある模樣である、其の內滿鐵はどんなの建築をするか又豫算が幾何たるかは目下の處不明であるが私の豫想を以てすれば少くとも七八十萬圓以上の建築をするだらうと思ふ其外は既に世人の知悉してる小兒の遊戲場……是は果して如何なる樣式で幾何位の建物であるかは知らないが……を始めとし……是れ大正八年か九年かには開校の豫定の疑問の問題だが……例の中學校と又果して何時から開校となるかは……であるから九年から開校するにしても八年中に仕事は始めなくてはならぬから是れと更に中學校と同樣になる學校問題も起つて來る樣子である其の他ヤマトホテルも若干の着手はするであらうし又驛の鐵道工事もあると云ふ具合だから決して小さいものではあるまい之に續いて

公會堂に東拓鮮銀

の工事である、公會堂は二十萬圓位はかける相であるし東拓も支店の建築をするし鮮銀も滿蒙經濟の中心策源地としての奉天支店を建築する筈だから是れ又決して小さいものではあるまい、正金銀行も亦城內から出て新市街內に新に建築するとの事であるし滿蒙毛織會社は一千萬圓と云ふ大資本を擁して奉天に臨むと云ふから是れ又工場社宅等に尠からぬ資金を投ずるに相違あるまい。其の他

大倉組やら劇場

やら次から次へと建築は行はれる筈近く開業の筈である奉天銀行は新市街と小西關方面とに建築をするし實業會社も本店を建築すると云ふ調子だから決して奉天明年中の建築界は本年に劣る樣な事は萬々あるまいと思ふ加ふるに東拓にしろ實業會社にしろ私の方にしろ本年は僅に店開きをしたに過ぎないので實際の活動を始したとは云へない狀態だから是れ等が眞に活動を開始するに至らば更に一層目覺しいものがあらうと思ふ。で建築物の如きも奉天と云ふ局部に於ては決して下落する樣な事は萬々あるまいと思ふと

○朝鮮燐寸總會　仁川松林里に本店を有し大阪及び滿洲に支店を置きて盛に製造を爲しつゝある朝鮮燐寸株式會社は二十二日午後二時仁川商業會議所樓上に於て第二回定時株主總會を開催し大正七年度第二期決算報告及び定款改正等の件を附議すべし同社は創立日尚ほ淺く第一回の決算に於ては約一萬餘圓の損失を生ぜるが爾來營業日に好成績を見第二回決算に於て前期の缺損を補塡して尚ほ相當の利益を計上したれば今回は幾分の配當を爲すべしと朝鮮に於ては唯一の燐寸製造會社なるだけ前途頗る有望なるが如しと

○正隆銀行奉天支店　豫て正隆銀行奉天支店は新市街浪速通大街に新築中なりしが最近愈々工事竣工したれば來る廿三日移轉し廿三日より新支店に於て營業を開始すべく舊城內支店は派出所として營業を繼續すべき豫定なり（天亞）

○仁川在庫穀類　十二月十五日現在仁川在庫穀物數量は　玄米五斗入一萬七千七百一叺　四斗入八千八百九十六叺　白米五斗入一千三百六叺　四斗入六千六十八叺　大豆五斗入百十八叺　四斗入一萬三千八百三十九叺　小豆三百七十九叺　小麥五斗入一萬四千三百五十九叺　四斗入一萬二千二百十三叺　大麥五斗入二百四十叺　粟二千五百十七叺　俵入六百五十五俵　粉米百七十二叺　栗百六十七叺　黍二百十五叺　俵入三百五十五俵　蕎麥二百四十叺　裸麥五斗入百四十九叺　三斗入百叺等なり

○炭と歲末

＝各地＝

到るところ品拂底で困つてゐる
…寺の木を斫て炭を拵へた篤志の朝鮮人僧侶があつた…

◇仁川では◇ 俄に値が上つた

仁川に於ける木炭は最近一箇月間は差した騰落なく小俵（二貫五百入）七十二錢大俵一圓三十錢位の値段にありしを昨年の歲末に比すれば約二倍の騰貴に當り割合さる昨冬の一俵三十三錢の市價より今日七十二錢に至る價格騰貴の趨勢を見るに前年來時局の關係と稀有の酷寒等に依り俄然價格暴騰し其後幾分平調に復したるも再び暴騰を重ね本年一月以降に於ては漸落の傾向を辿りしが更に八月より約十五錢高を稱へ遂に年末には七十二錢を唱ふるに至れり

◆騰貴の原因　に就て云へば（一）生產地に於ける生產減少即ち林野所有權の確定により盜採困難となりたると各道令に依り採取取締規則に因り採取制限を受け其の原料の不足を生ずるに至りしと（二）勞銀の昂騰又は運搬賃の高價等による生產地に於ける生產費の附加及び（三）產地に於ける取引上特別事情即ち夏秋期に於て他地方商人が產地に入込み買占又は豫約を以て買込む事其他需用期に入り生產者の賣惜みによる人爲的市價の釣上げ或ひは產地に於て緊縮取締上移出制限を爲し需給關係の充分なる能はざる等の理由は漸次昂騰を誘致せる原因なるが如し仁川市內其他附近に供給する木炭の

◆主なる產地　は黃海道延安、瓮津、金川等にして木炭は鐵原より入荷あり但し仁川市內に於ては此の木炭の需用は殆んど稀なるが如し大正七年中の移入總量は約二十一萬九千俵（一俵重量平均二貫五百目）に達せるが移入の最盛期は每年十一月十二月一月中旬にして一日平均約千二百俵の移入を見る割合となれり之れ等は總て市內約三十名の木炭取扱業者の手によりて供給せらるゝものなれど內三分の一位は船積より直接需用家に取引せらるゝものなり需用割合は內地人九割にして鮮人一割に過ぎざるべく今本年一月以降月別平均値段を示せば左の如し上段は船より卸値段下段は小賣値段なり

一月	三五	四〇	七月	四五	四二
二月	三四	四〇	八月	六〇	五〇
三月	三二	三六	九月	六〇	六五
四月	三五	四〇	十月	六七	七三
五月	三八	四二	十一月	六五	七〇
六月	四〇	四五	十二月	六五	七三

大略以上の如くなるが大正六年十二月中の價格卸賣三十三錢小賣三十八錢に比較すれば本年十二月は約二倍の騰貴に相當し尙ほ今後嚴寒に入れば多少の騰貴を見るべき傾向あり現在の在荷は船積と倂せて約一萬五千俵には達すべし（仁川商業會議所調査）

◇大邱では◇ 篤志の僧が 寺の木を伐て

◇炭二萬俵を造つた美談◇

慶北聞慶郡山北面金龍寺住職金慧翁より本年一月廿日附を以て同寺有林中より櫟六千五百本、檜六千八百五十本伐採方を願出でゐたるが去る十六日附總督府より許可せられたる由該林木を伐採するときは木炭六貫俵約二萬俵を製出し得る見込なれば慶尚北道に於ては之が木炭は道內に於ける木炭需給調節上に利用する目的にて道外に搬出を禁ずるは勿論調節を目的として賣却せしむる相當の條件を附し當局より充分注意を與ふる由なれば是亦現時問題となり居れる

仁川名刺交換會

各地の新年

仁川に於ては楠野仁川府尹奥田商業會議所會頭發起となり例年の通り大正八年一月一日新年祝賀名刺交換會を開くべしと希望者は左記に依り來る二十五日迄仁川商業會議所へ申込まれたし（一）日時一月一日正午十二時（二）場所仁川ホテル樓上（三）希望者は原籍府縣名職業氏名を明記し會費金五十錢を添へ申込む事

◇川柳壇新設◇

選者　劍花坊先生

川柳は平民文學中の最も短き人事詩にして、源を江戶時代に發し、明治三十六年井上劍花坊先生起つてこれを新時代に當てはめしより、日に月に隆盛を極めつゝあり、本紙は來大正八年一月の紙により川柳壇を新設し、劍花坊先生を以て選者とし、左の方法を以て廣く全道吟士を迎へんとす

（一）用紙ハガキに限る、無制限なれども題每にハガキを別にせられたし（二）一月十日〆切（三）京城日報社川柳壇投稿』と書入るゝ事

題　京…城…日…報…詠込四題一組

題例

京（半結び意味共に宜し）
京の町平な所で上り下り　古川柳
京で見た物語花を出し　劍花坊

城（同上）
楠が鼻を押へて采を振り　古川柳
今朝る、日に顏城は拘ふ　古川柳

日（同上）
十三日迄は大石笑はず　劍花坊

報（同上）
報の危篤に帝心矢の如し　劍花坊

東京噂の噂

五年近くも續いた世界の大戰亂は交戰各國をして人の不足を感ぜしめたことは一方ならぬものであつた▲敵の獨逸國は勿論であらうが、聯合國側とても殊に英國や佛蘭西は非常なものであるが▲戰爭から歸つて來た某有力家の話では英國から先に戰地へ出て行つた結果男子といふ男子は不具者でない以上は殆んど戰地へ出て行つて居る爲めに女の仕事は未曾有の好景氣を示し其の結果中流以下の婦人で今まで持つたことの無いやうな大金を持つやうになつたものが多い▲其の所謂好景氣なるものは此の婦人の多くをして虛榮心を助長せしむるに至つた▲すなはち英國に於ては上流中流以上のものでなければ毛皮を着ることは容易に出來ないのである▲ところが下流の婦人もこれまで欲しかつた毛皮を今日では求めることが出來るやうになつた▲其の結果夏季の暑い日中に於ても下には薄い衣を纏つてはゐるが其の上には例の毛皮を着て汗を拭き〳〵得意になつて道を歩き又は仕事に從事してゐるといふ一種の奇觀を呈してゐるといふことである（東京）

廢物利用

主婦の心得

◆古いチョッキ◆　古くなつて着られなくなつたチョッキは、背のところを切り去つて、他の布で同じ形に綿を入れたのを縫ひつけておくと、寒中などは防寒用として洋服の下に著られます。眞綿のチョッキなどよりも、暖かいうへに體裁もよろしいです。

◆古洋服の利用◆　著られなくなつた大人の洋服は、これを仕立直して子供の洋服が出來ます。また古洋服の布で下駄の鼻緒や足袋カバーなども出來ます。

◆古服で座蒲團◆　著られなくなつた古洋服は、つぎ合せて座蒲團にすれば大層暖かくて丈夫なものが出來、古い羅紗はペン先拭き等にもなります

◆古いネクタイ◆　用ゐられぬやうになつたネクタイを、洗濯して取つておき、それをいろ〳〵に繼ぎ合せて座蒲團にすると、美しくて坐心地のよいものが出來ます

◆古半襟で帶留◆　古くて掛けられなくなつた半襟は、半幅に裁ち切つて山はざこいたし、汚れた部分のかくれるほどに細くくけて帶留にしますと丈夫な物が出來ます

◆同上…長襦袢◆　古い半襟をつぎ合せて長襦袢を作りますと、輕くて至極用ひよいものが出來ます

◆古いメリンス◆　何でも構ひませんから、古くなつて使へなくなつたメリンスは、とつておいてハタキに作りますと、大層具合のよいものが出來ます。

演藝案內

有樂館　早川演藝部直營　活動寫眞常設館　電話三〇五　愛國心　全五卷　毒瓦斯と砲火　全一卷　人情劇 海の娘　全五卷

壽館　本町二丁目　電話一二五〇　英國軒ハレー一行　特別大勉强金拾錢均一

黃金館　電話二二六六　大秘密　第十五篇第十六篇　新派劇 阿部豐後守　全四卷

浪花館　京城明治町　電話二六〇　德川の忠臣（全通し）

文樂座　本町五丁目　電話一三一八

大正館　電話八七三　探偵劇 指輪行衛　全五卷　首變り大名　新派大悲劇 國の譽

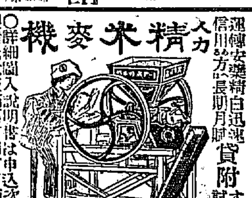
商業登記

株式會社朝鮮殖產銀行ハ大正七年拾貳月拾五日新義州府常盤町八丁目拾六番地ノ四ノ支店ヲ左ノ處ニ移轉シタリ　新義州府本町貳番地　大正七年拾貳月貳拾壹日登記　京城地方法院開城支廳

●無効廣告

拙者共實印及檢印本年十二月十六日遺失致候に付拙者共の權利義務に關する書類は自署の外は責任を負はず無效に付此段廣告す
大正七年十二月廿日　全羅北道益山郡益山面裡里　大橋與市　田中德太郎

人力 精米麥機



運轉安樂精白迅速　信川方へ長期月賦貸附す　實物御試驗を乞ふ　詳細圖入說明書は申込次第送呈　製造元大阪西區市岡町東　物產社

謹賀近火御見舞　京城明治町二丁目　岡村介石
謹賀近火御見舞　京城明治町一丁目　宮木槌藏
謹賀近火御見舞　京城明治町一丁目九　贊化病院
謹賀近火御見舞　京城明治町二丁目四八　竹內活版製造所　電話三〇四〇番
謹賀近火御見舞　活版製造京城明治町二丁目　インキ製造 印刷用紙 其他印刷器品　櫻井商店　電話三一一六番
謹賀近火御見舞　昨夜近火の際は早速御馳付御見舞を辱うし奉深謝候一々拜趨御禮申上可き筈なれ共取込中以紙上御禮申上候　京城明治町二丁目四六番地　福助事 小原くま
謹賀近火御見舞　明治町二丁目四十八番地　印刷製本所　山中所平
謹賀近火御見舞　仁川內里　電話二六番　本莊酒店
謹賀近火御見舞　仁川內里　瀨良金物店
謹賀近火御見舞　仁川內里　電話三二八番　德永與五郎
昨夜近火の際は早速御見舞を辱し奉深謝候右不取敢略儀以紙上御禮申上候　仁川內里　後藤連平

壹千五百組限り　上等毛布　二枚一組　一圓五十錢
東京市日本橋區本石町一丁目　某店にて前記上等品を處分致す處あり一流の長所は、色毛布の善き處直段の安い事は、平素信用ある同店の外に類なき處也而も二枚つき一組乙號只の一圓五十錢にて甲號三圓五十錢の大見切品同店七十年の紀念として賣出し者より破天荒の品ならば、メッキでなき自然十八色の毛布一組の注文は一個宛の無代を進呈をなすと云ふ何れも希望者は早速ハガキで申込み價切になりぬ內ハガキで申込み送料なども賃金で送ると

大黃金町長橋町入口　電話二九一六番　田村質店　商品擔保便利取扱

（ミツワ文庫七ノ一二）

凍瘡、鼻病、腺病、痔疾

容易に治らぬ凍瘡にあれ、あかぎれ—油斷のならぬ火傷—痒の劇しい頑癬の類—寒冷ハ爲に惡くなる鼻加答兒—瘰癧とも稱へる腺病—眼病の種々—早速手當せねばならぬ痳疾—便秘などから起る痔疾

▲凍瘡（あれひゞ、あかぎれ）　寒冷の爲に起る通稱霜燒けと稱へるもので、初め貧血し次に充血し寒冷の加はるに從ひ鬱血するので、痒くなつて紅くなり豆ほどの浮腫が來る、之を凍瘡と名づけるのである。それが漸々大きくなり水疱を作りそれが破れるご潰瘍となり其處へ細菌が侵入すると中々悔られぬ重い病症を起す、それ故出來たら直にミツワ凍瘡藥を塗るに限る。本藥は類似藥と格段なもので、凍瘡の惱みを凌いで居る良藥である、又凍瘡の豫防として平生ミツワ雪の雫を用ふるに限る此頃の風は肌を荒らすがそれにはミツワ雪の雫が最も良い、又あれが進んでひゞやあかぎれとなつた場合にはミツワ凍瘡藥を塗るに限る、本藥は水蟲にも卓効を奏するものである

▲火傷　寒くなると自然に火や湯を使ふことが多くなるから隨つて火傷することも多い、火傷も前に述た凍瘡と同樣に小部分ならば生命に係はることはないが、細菌の入込む虞があるから決して打棄つては置かれない　そこで火傷には直にミツワ泥膏を塗るに限る、本藥は組織を緊め縮め、分泌物を乾かし薄い膜を作つて細菌の侵入を防ぎ、患部を包み擦ることいふ効能を有してゐる火傷のみでなく表皮剝脫、擦過傷、皮膚爛る、毛嚢炎等にも良く効くのである、又火傷にはミツワ制痒膏を用ひても良い、本藥はミツワ泥膏の主藥に稱へるものにしたので乾燥が速かで粘着かず、繃帶の要が無いそれ故各家庭では此の兩藥孰れかを必ず備へて置いて、火傷の如き不時の怪我に早速用ひなければならぬのである

▲頑癬（はたけ、しらくも、陰囊濕疹）　頭部の處々に灰白色の皮膚で被はれた部分が出來、多少痒く其の形は圓くて大小の錢の大きさで毛髮が稀疎くなる、之を俗にしらくもと稱へる、之と同様のものが顏や頸に出來るそれを俗にはたけと謂ふ、いんきんたむしは大腿の內面と陰囊との向ひ合つて居る部分に多く出來、紅くなり、表皮が剝け、水疱や痂皮が出來、痒みが甚だしいもので搔くと皮膚が剝けて濕疹となり頑固で中々治り難い以上頑癬の類は優良無刺戟のミツワ石鹼で洗つてミツワ頑癬膏を塗

▲鼻病　鼻の病は種々あるが其の中最も多いのは鼻加答兒で、是は寒冷の刺戟を受けると尚惡くなる、一寸鼻加答兒に罹ると鼻腔内が紅く腫れ、灼けるやうに熱く、又乾いて痒く、嚏が出て頭痛を起し、鼻液が多く出て鼻が塞がる、それから鼻の呼吸は妨げられ、嗅覺も減り、閉鼻聲となり、咽喉や耳又眼の炎症を惹起し是が慢性になると神經衰弱を起し、記憶が不良になり、夜も眠られず、氣も鬱ぐやうになる　斯樣な鼻加答兒を治すには塵埃を避け寒冷に當らぬやうにし、ミツワ鼻病液を塗るに限る、本藥は塩化アドレナリンや硼酸コカインなどの高價な有効藥を主藥としたもので前に擧げた鼻の症狀を治すことの出來る優秀無比の藥劑である

▲腺病（瘰癧）　彼の兒は腺病質だと云ふことは能く聞く所であるが之に二樣ある、其の一は遲鈍性で顏貌が愚鈍に見え、皮膚は厚く腫れ鼻は大きく、動作は緩慢で脈力も亦遲鈍である、他の一は過敏性で顏貌が痩削けて皮膚は柔軟で蒼白く、眼が大きく其の白い部分に青味を帶び、動作は銳敏で精神活潑である、兩者孰れも頸部や頸下の淋巴腺が腫れて瘰癧となり、結核性の病症に罹り易い　腺病質の小兒は新鮮の空氣中に運動させるやうにし、滋養物として肝油ドロップスを與へ、結核に罹らぬ用心をして處方公開のミツワ結核錠を服ませるに限る、本藥は腺病、肺尖加答兒、肋膜炎、慢性腹膜炎即ち俗に謂ふ肺病、肺結核等に良効ある藥劑である

▲眼病（結膜炎、トラホーム、夜盲）　眼瞼結膜に充血して羞明しく熱く痒く又刺すやうに感じ、何か入つて居るやうにコロ〳〵し、物を凝視ると涙が出て仕事殊に夜業が出來ない、之を俗に逆上眼と謂ふ、是等の症狀が劇しくなつて分泌物即ち目脂が多く、それが爲に上下の眼瞼の睫毛が膠着して眼が開かなかつたり、又黒目の上に附いて物を見る妨碍となつたりする、又附き拂ふこともまた來て附く、斯の如きものを俗に流行眼と稱へる、斯樣な眼病を治すにはミツワ硼酸錠を溶かしてそれで眼を蒸して、ミツワ點眼液を用ふるに限る、そして便通が十分になければミツワ緩下錠を服まねばならぬ

▲痳疾　夜盲は夕刻になると丁度盲の如く何も見えなくなるので、先天性のは治り難いが然うでないのは肝油で治る、それ故此の場合には强肚料肝油ドロップスを食るに限る

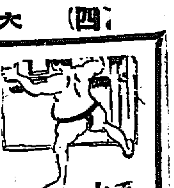
▲痳疾　痳疾は尿道のみに止まらず、膀胱副睾丸を侵すことがあり、又一度治つても飲酒や性交などの爲に再發することがある、そこで之に罹つたなら成るべく身體を安靜にして辛い物、酸い物等を禁じ、便通を整へ、藥劑として內服にはミツワ痳疾錠、外用にはミツワ治痳藥、ミツワ痳疾洗滌液に限る、急性痳疾では發病後一週間位はミツワ治痳藥のみを用ひ局部には成るべく觸らぬやうにし服用の度が少くなつてから、本藥を服む傍徐々ミツワ痳疾洗滌液で尿道の洗滌を始めるが最も良い詳細は夫々藥劑に添へてある說明書に述べてある

▲痔疾　痔核即ち疣痔は肛門の內或は外に豌豆位から胡桃ほどの大きさの結節が出來て、便通の時殊に痛んで往々出血するものである　痔瘻即ち穴痔は肛門の周圍に隧道が出來て肛門の內或は外に開口して居て膿を洩らし、疼痛や瘙痒を感ぜるものである　肛門裂傷即ち裂痔は肛門の入口の粘膜が龜裂のやうに裂けて、便通のとき非常に痛み血を洩らすものである　以上痔疾の家庭治療としてはミツワ緩下錠で便通を整へ、內容明示のミツワ痔坐藥を用ふるに限る、本藥は收斂、鎭痛、止血、防腐等の作用ある良藥數種を配合して肛門坐藥に造つたものである

ミツワ凍瘡藥一壺廿錢。ミツワ雪の雫一壜四十錢大壜一圓六十錢。ミツワ泥膏一壺廿錢。ミツワ制痒膏一壺十錢。ミツワ頑癬膏一壺廿錢。ミツワ鼻病液一壜卅錢。ミツワ結核錠百錠二圓。肝油ドロップス五十顆九十錢、百廿顆一圓八十錢。ミツワ硼酸錠百五十錠廿五錢。ミツワ點眼液一壜十五錢。ミツワ治痳藥五十錠一圓五十錢。ミツワ痳疾洗滌液一壜洗滌器附五十錢。ミツワ痔坐藥六個四十錢。ミツワ緩下錠四十錠十錢、百廿錠廿錢、三百五十錠五十錢。內地以外は關稅運賃を加ふ。發賣元 東京日本橋區　丸見屋商店

家庭治療法

醫學士小山田鎭郞著　四六版三〇頁
本書は日常罹り易き疾病の原因症狀等を平易に說き、家庭に於て施し得る治療法を丁寧に教へ、醫師にかゝるまでの親切なる相談相手となるものである。定價金五十錢。但其半額（郵券代用不苦）を添へ御申込あれば一冊送呈す。東京日本橋區橘町　丸見屋商店（振替東京七一〇番）



毛谷村六助 卅六番角力

九十七席 桃川桂玉口演 浪上義三郎速記

後藤又兵衛基次は泉州堺の後藤から八十餘人の家來を引伴れ行列を立て、旗馬印を押し立て大阪へ入城いたしました、秀頼公へ御目通をいたしお盃を給はり、後藤又兵衛基次となつて二の丸の大將となりましたが、大阪の戰ひは慶長の記録に詳しく申上げてありまする故是は略しますが、諸所々申上げ置きましたが第十九番目の勝負は出又兵衛でおります、是まで立た人達とは違つて黒田家の後藤又兵衛と來たら人も知つたる豪傑、秀吉公始め一流の方々此相撲如何あらんと片唾を嚥んで御見物なさる六助も後藤と聞いては容易ならぬ相手と思へば充分に心を付けて互に四股踏んで身構へました、行司の十時傳右衛門は軍配を採つて双方の呼吸を窺つて居る、充分呼吸の合つた處でヤッと軍配を引く、兩人一度に立上がつて暫く手先で突合つて居る又兵衛は面倒と思ひ唯一と突に突出さうとして、兩の腕へ力を籠め六助の胸先を目懸けて突きかけた、正面に受けては堪りません、ヒラリ左手の方へ身を交すと又兵衛は空を突いて思はず土俵の外へ飛び出してしまつた十時は六助に軍扇を上げ勝角力六助と名乗りを揚げる又兵衛は餘り馬鹿々々しい角力を取つたと呆れて振返つて土俵を居ります、團右衛門を始め自分な連中は手を拍て喜び先づを見て方が瑞ねたと云つて居る第二貫け番目に出ましたのは藤堂和泉守の味方高虎の家臣折合孫作といふ者でございます此の人のお話をいたしますが、元龜元年六月二十八日彼の姉川の戰ひでございます、味方は織田、徳川、敵は淺井朝倉、流石に廣き姉川原も敵味方で埋まるばかり、互ひに川を前にして陣を張り睨み合つて居りました、スルと淺倉方の先陣磯野丹後守が一手を率ゐて押し出す、織田の先陣坂井右近長孝、磯野の同勢を目懸けて川を渡させまいと鐵砲を射出す、此時丹後守の陣中より乗出した一人の若者、黄絲の鎧に同じ毛の鹿毛の駒に跨り、槍を取つて姉川へ乗入り敵の射出す鐵砲を物ともせず、乗り渡して右近の同勢の中へ突いて入り忽ち兩三人を突伏し高に呼ばゝらは『ヤア〳〵當姉川の一番槍は磯野丹波守の家臣藤堂與右衛門高虎當年十八歳の初陣なり』と縦横無盡に乗廻して働く有様、敵も味方も賞めぬ者はございません、此姉川の戰ひは淵川四戰記に詳しく出て居ります故に略いたしますが、遂に淺井朝倉は打負けて滅じました、藤堂與右衛門高虎は磯野の家が潰れてしまひ據ろなく浪人をいたしましたが孫作同様にして居りました折る月日は違ふと雖も死は倶にしやうといふ契を結んで終に兄弟分となりました、是より兩人といふことになつて諸國武者修行に出ました、寛永の頃の荒木宮本を武者修行といふは違つて居る、これは何れも武藝修行だ、本統の武者修行となると諸侯の器量を試し、又地の理を探り其に依つては戰さの手傳をする、眞田幸隆、山本勘介、明智光秀などを眞の武者修行と云たものでございます、藤堂與右衛門、折合孫作の兩人は諸方を廻り伊勢路へ入つて參りまして、大廟へ參詣を濟ませ、それより追分から桑名へと出て參り、此處に智多郡七里の海上宮の渡しといふのがございますが、船の出る處へ來合はせば宜いが、左も無いと半日位待たせられる、兩人は三番船に乗りまして宮の宿へ著き、もう日は暮てしまひ空腹にはなるし、何にしろ十二月の下旬のことでありまして寒さは寒し、兩人とも貯への金子とても無く、途方にくれて居りました。

四方八方記

奉天 老禿生

◇それこそ南滿なら何處やらにも少しはシッカリして居はなくてはならん。それも左様だが爲國的頭で考へると滿洲と云うて北滿や蒙古この境界がキチンシャンと限定されて居ないから何こか御託宣がでるかも知れまいがヨウク考へし御覽うじろ其處が融通の利く面白い處でイヤナニ退却に都合の好い程進むにも都合の好い様に出來てる處である、◇がしかし進んでも他人に取られ近いてもマンマと首尾能くシテやられ此れでは全體何處に日本の立つ瀬があるやら。それに就けても何苦缺乏に堪へ、梅干に握り飯で草鞋に脚絆も心細くならざるを得ない所謂眼のある處へ玉蠅は甘いつくもの昔から相場は極つてる◇金を欲しがる貧乏人の處へ、お金を見せてやる、職に瀕した生民には惜氣もなく食物を與へる。アーメン曰く得んと欲すれば先づ與へよ、の上を起して太つ腹に與へるには利權やら何やらがチャントお膳立が出來ると云ふ始末だから際にたまらないよ、餘ンまり生面目に潔癖にやるのもドウやら物らしいこの奥地からの歸客談を其まゝに

◇平壌武術會納會 平壌武道奨勵會の後援に係る平壌武術會にては來る二十七日午後一時よりその練習場たる在郷軍人分會演武場に於て納會式を擧行すべく又平壌警察署に於ては二十五日午後一時より同署内演武場に於て武術納會を擧行すべしと(平壌)

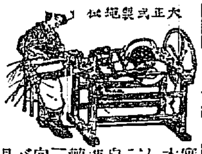
○仁川倶樂部會 仁川倶樂部會は來る二十四日火曜日午後六時より忘年會を兼ね仁川會を港商に於て開くべく併せて地方法院判事松本氏及び稅關技師小島太八氏の歡迎會を催ふすべしと

十二月廿四日 舊十一月廿二日 ◆乙巳 ▲宮中御煤拂

▲六白▼ 披露すべき日吉
▲七赤▼ 親しみのある日にて何んとなく慶つかしき日萬事に用ゐて何れも吉
▲八白▼ ひき立てを受くべき日にて繁榮の日なり、故に萬事進むに利あり
▲九紫▼ 手を出すと得、損、行く日也
▲一白▼ 萬ことに不和の日なれば健康に注意して進む事を控ふべし
▲二黒▼ 何ごとか婚れきもなくて叶はぬ日なり萬事進んで不益を得べし
▲三碧▼ うつかりすると枯の入る日
▲四緑▼ 餘、香んばしからざる日なり
▲五黄▼ 人儀かき親しみのある日なり萬事進んで吉なり殊に南方は吉也

撫順炭
南滿洲鐵道會社特約店
西村商會
京城永樂町二丁目
電話長 三〇〇番 九〇〇番

紳士の頭髪を飾る
高等煉香油
二葉ポマード
栴リックを要せず髪は思ふまゝ貴婦人は申すに及ばず到る
大阪久寶寺町 化粧品問屋 角倉文店



大正式製縄機
實驗用大割本機は事業として最も有利
東京本所長崎町三日本發明奨勵會

到る處の文房具店にあり

ラーヂ萬年筆(目録進呈)
賜宮内省御買上
賜各宮殿下御買上
東京市日本橋區本町 文房具商 宮内省御用
酒井長次郎商店
電話本局五一七番 振替東京四九五三
男子用壹圓五拾錢より金十圓迄
婦人用金弐圓用錢より金拾圓迄

八木田博士御處方 島田博士御鑑査
アナタの胃病にはマーゲン
強胃消化
本劑の特色
マーゲンは舊式胃病薬と異り其の效は根本的に胃の消化能を盛んにし食慾を催し胃弱を治し
大阪市東區上本町五丁目 田畑保薬房

りん病 急性慢性を問はず
博士發見の新薬を配合せる林滅を御用あれば全治
十錢四回 送料不要
ルーデサック 特製品
A十個五十錢 廿個九十錢 B十個七十錢
郵券不要
京城黄金町三丁目 山田文殊堂薬房

生地の美を増す
日本名物のクラブ洗粉

お化粧の順序
クラブ洗粉
クラブゼリー
クラブ白粉
はけ
水とけ
ぬれタオル
クラブ頬紅
クラブ粉白粉

洗粉をお求の節は必ずクラブ洗粉と御指定遊ばせ……一番確かな品が得られます

美人

品質の良否は
お試し下さる方の御判斷に任せます
ウヅマキ石鹸が
現在品を超越して品質と實用に重きを措く事に就ては動かぬ自信を有て居ります
天野磯五郎

共同汽船出帆(仁川)

阿波共同汽船 大連直行(關東都督府命令船)
共同丸 十二月廿一日後港入 十二月廿二日正午出
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡發着御取扱 大連にて青島行定期船接續荷客共通輸送
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目(電話一七三番)
仁川代理店 野口商會 仲町(電話二四四七番)
元山代理店 田口回漕部 南大門(電話二七六〇、八二一)
京城取次店 河村運送店

互光商會汽船出帆廣告

第二 互光丸 元山西湖、城津、清津行 十二月廿三日釜山出 十二月廿五日元山出
第三 互光丸 門司、宇品、神戸、大阪行 十二月卅一日釜山出 一月二日元山出
釜山 大池回漕部 電話一三二

尼崎汽船出帆(仁川)

下關大阪直行 君が代丸 十二月十七日後四時出
人有丸 十二月十八日後四時出
山木浦、下ノ關、大阪行
神代丸 十二月二十日後四時出
仁川海岸通二丁目(電話五九番) 廣瀨回漕部

大阪商船汽船出帆(仁川出帆)

神戸大阪行 安東丸 十二月 日 正午出
木浦大阪行 信濃川丸 十二月 日 正午出
(元山出帆)
西湖津、新浦、城津、清津行 宮島丸 十二月十九日後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 安平丸 十二月 日後九時出
(大連出帆)
上海、芝罘、打狗行 湖北丸 十二月 日前六時出 基隆丸 一月二日後六時出
內地各港出帆主要航路
歐洲行 一年四回 北米行 每月一回
南米行 一年四回 孟買行 每月二回
濠洲行 每月一回 南洋行 每月二回
◎外國航路乘船ノ時ハ五分引ヲ以テ運賃ヲ收受ス◎朝鮮鐵道及南滿洲鐵道切符發賣仕候
大阪商船株式會社仁川支店 電話二二番 二一〇番 五五〇番
京城 內國通運會社內 切符發賣所

朝鮮郵船出帆

[illegible]

日本郵船出帆(仁川)

大連、秦皇島行 酒田丸 一月三日朝出帆
神戸ヨリ早發スル「アルベシ」
高砂丸 十二月廿六日正午出帆
仁川海岸町一丁目(電話十番) 堀回漕部

汽車時刻

京釜線(南行) 同(北行) 京義線(南行) 同(北行) 湖南線(南行) 同(北行) 京元線(北行) 同(南行) 京仁線 [illegible]

京城日報　第五版

京城太平通一丁目　發行所　合資會社京城日報社　發行兼編輯人　奥田直毅　印刷人　小川三之介　電話番號　編輯局……六十九番　營業局……三〇……

京城日報

聖慮深遠
高等教育機關の整備に關する内帑金御下賜

一

聖上陛下が宵旰勵精、軫念を萬機に勞させたまふことは、國民の常に恐懼して措かざる所なるが、今回豫算内示會に於いて、原首相の語れる所を聞くに、高等教育機關擴張の施設に對し、特に内帑より黑賜あるべき御内意ありといへり。此事に就いては余輩は東電に因り、既に讀者に報道したる所なるも、更に其詳細を傳ふるがために、之に關する首相演説の一部を再記すべし。首相はいふ『教育制度改良の問題は實に數年に亘りて解決を得ざるものなりしが、今回臨時教育會議の諸子の盡力によりて、大部分調査終了し、既に勅令を發布したるもの之ある次第なるが、此の新令を實施するに當りて特に注意すべき二の要件は高等教育機關の擴張と學科目の改良なるが學科目等に就ては、別に委員を設けて調査するの外なきも、高等教育機關の不足は、速かに之が擴張をなして其の補充をなさゞるべからず、其機關不足のために年々入るべき學校なくして、方向に迷ふ學生は、四五萬人の多きに達し、國家として一日も此現狀を寛視することは能はざる所なれば、政府に於ては高等教育機關の增設擴張の考案中なりしに此事上聞に達し思召を以て御内帑金御下賜の御内意あることを拜承し實に恐懼感激の至りに堪へざる次第なれば早速高等機關即ち大學、高等學校、實業學校、專門學校等を增設又は擴張し、將來學生の方向に惑ふ者なからしむる計畫を立てたれば、是亦追加豫算として議會の協賛を求めんと欲す、此儀亦豫め諸君に御了承を乞ふ所なり云云』と。吾人之を讀み無量の感慨なき能はず。

二

回顧す、明治天皇の御宇、國家の財政不如意にして、國防に必要なる軍艦の建設遲々として進まず、識者として轉た前途を憂慮せしめたるも當時の國論は、國防の充實すら徹底せざる程度に在り、殊にして唯國費の增大せんことを懼れたるに際し、明治天皇は此の狀態をみそなはし、巨額の内帑金御下賜あり、爲に一般國民をして、軍艦建造の急なるを悟らしめ、四方より獻金を願ひ出づるもの數を知らず、當時の優秀なる三景艦の如き、此の御下賜金を本として建造せられたるものと記憶す。明治二十七八年戰役に於て、敵の北洋艦隊を擊滅し、全勝の戰績を收めたるは、即ち先帝の深遠なる大御心に根源するものにして、當時若し國論の走るまゝに一任したらんには、黄海の一戰、或は反對の結果を得、我國の歷史に拭ふべからざる汚點を留めたるやも知るべからず。國の前途は實に偉大なる精神に依りて導かれざるべからざる此の前鑑に徵するも明々瞭々たらずや。

三

文武品を殊にすと雖も、今回御思召させたまふ所は、亦先帝の大御心と轍を同じうするものと恐察し奉る。固より政府當然の責務として、國家の要求する教育機關を完璧せざるべからずと雖も、當路は此の深遠なる聖慮に對し、更に奮勵努力財政を按排料理して、必ず其の目的を達するを期せざるべからず。思ふに力の競爭は今回の戰亂を一段落として暫らく歇止の狀態に在るべきは、既然たる形勢にして、之れに代りて世界を支配すべきものは知の競爭たらざるべからず。致知の道は教育を外にして之れを求むべきなし。學制の改革急ならざるにあらずと雖も、學徒を收容するの設備は更に大いに急なり。現在本邦の狀態を以てすれば、所謂教育は青年の過半を未成品に終らしむるものにして、之を不完全不徹底と稱するよりも寧ろ慘酷無情なりといはざるべからず。品物の未成品は猶之れを捌くの道あるも、人間の未成品ほど始末に往かぬものはなし。而も此の未成品者は競爭試驗といふ極めて不完全なる方法に因りて剔ね除けられたるものなるを思へば、吾人は更に同情の涙を濺がざるを得ざるなり。首相が所謂高等教育機關の增設擴張は如何なる程度のものなるや知るべからざるも、果して『將來學生の方向に迷ふものなき』を得せしめば、上に聖慮に副ひ、下は國民全體の慶びにして、大日本帝國の進運に貢獻する所極めて大なるものあるを知る。

近時臺灣教育令の發布もあり、政府が植民地に對する意向も亦茫からざるものあるを見る。吾人此際朝鮮に於いても、一の文科大學、數個の專門學校設立の要あるを認む、但し之に就いては他日稿を更めて詳述することゝ爲すべし。

列强對支那經濟發展（九）
▽海蘭と同成鐵道（續）

本鐵道が政治的に將た又經濟的に如何なる價値を有するかは略前述の如し宜なり本利權が白耳義財團の手に歸するや眞に世界の耳目を聳動せしめたることは決して偶然ならざるべきなり而して白耳義は露佛の投資に成り由來露國の中部支那に活動する場合に於いては常に

▲佛國を隨伴 するを慣用とした るが故に本利權を獲得したるの一面は露國なりと云ふも必ずしも誣言にあらざるべきを信ず果して然らば最早殆ど解體に等しき露國の現狀を以てして將來如何の措置に出でんとするかは多大の疑問と云はざるべからず殊に歐洲戰亂の勃發以來白耳義財團が本利權の義務を履行する能はざるの狀態に陷るや機を見るに敏なる彼の米國は裏面に於て活躍頻りなるものありこの消息を傳ふる此場合に於て米國が白耳義財團の借款契約を變更せしめ自己の手に此利權を收めんとするの運動を起したるは決して

▲荒唐無稽說 と云ふべからざるが如し昨大正六年五月の頃支那國會に於て或一議員は建議案を提出して曰く海蘭鐵道中、西安、洛陽間は經濟上及び地方開發上一日も速かに之が布設を要す然るに白耳義は戰亂の渦中に在りて資金を投下する如きは到底不可能なり故に白耳義との借款契約を破棄し他より借款を起して急速布設すべしと云ふに在りたり此建議案が如何なる動機如何なる計畫の下に提出せられたるかは深く詮索するを用ゐず恐らく米國の躍起運動が其片鱗を現はしたるものと想定せば足る

▲斯る建議案 も政爭頻發の爲未解決に終り荏苒放任せられ居るの現狀にあるも爾來米國のインターナショナル、コウポレーションがシームスカレーの技師を派遣して該線路を測量せしめたる事ありと聞く此一事に想到せんか米國の意料は敢て忖度するに難からざるなり近き將來必ず再燃し來るべき本鐵道問題は特に一段の注意を要す

▽露と同成鐵道

千九百十二年海蘭鐵道借款を締結して世界の耳目を聳動せしめたる白耳義財團は更に翌十三年八月同成鐵道の利權獲得に成功したり本鐵道借款契約の條項は總て海蘭鐵道借款と同樣なり故に其裏面に露佛の資本を含み海蘭鐵道と同じく其實權の露國に存ることは是亦了解し得べきなり

▲露佛の資本 を含み海蘭鐵道の支線として目せらるゝ本鐵道は山西北端の名邑大同府を起點とし汾河の流域を南下し太原平陽蒲州等の平原を過りて[illegible]關に到り海蘭鐵道に[illegible]續し更に陝西省に入りては省城西安に到る間同鐵道と共通し夫の蜀の棧道を經て四川省の首都成都に達する延長九百六十哩の大鐵道なり白耳義財團が此一大利權を獲得するに至れる經路並其曲折に就ては嘗に本紙上列强と支那鐵道の條下に詳述したるを以て茲に記述するを避け只單に本鐵道の

▲經濟的價値 並に其將來の計畫を概觀するに止めんとす本鐵道を經濟的に觀察するに山西の寶庫を開き四川の富源を開發するを以て主要の目的と爲したるが如し今沿線の形勢を述べんに彼の山西に於ける汾河流域は省内第一の肥沃地にして穀類煙草棉花等を産すると共に又各種の鑛物に富み殊に一大石炭紀層は汾河縣に於て南北に走り其他鐵硫黄食鹽を産出す時に洪水の患ひあるを唯一の災害と爲すも是等の富源は實に測るべからざるものあり由來四川省は支那第一の天府と稱せられ夙に英佛の二國は頻りに南方より之を縱貫せんと覬覦すること年久しきに拘らず途に上記の如く

▲白耳義財團 の爲に一籌を輸するに至れるなり若し夫れ將來本鐵道を北に延長せば歸化城庫倫を經て西伯利鐵道に接續すべく一方成都より雲南省城に到りて佛國の滇越鐵道に聯絡して海防港に出づ又雲南より佛國の欽渝鐵道（未成）に依り興義南寧を經て欽州に達すべく之に依つて所謂恰克圖東京灣間の支那南北縱斷鐵道を實現するの運命を有す此雄大豪壯なる計畫を以て徒らに空想として斥け單に圖上の線と看做す事能はざるべく往年露國が不屈不撓の精力を傾注して西伯利鐵道を完成したるに鑑みれば斷じて不可能なりとは云ふ可からざる也既に本鐵道の支線たる海蘭鐵道に對して垂涎措く能はざる

▲暗中に飛躍 せる米國が戰後如何なる行動に出づべきかは實に端倪すべからざるものあるが故に今後形勢の推移を俟つにあらずんば適確なる判斷を下すに由なしと雖も支那に對しては他の列强に比して少しく立ち後れたる米國が常に機會ある每に中部支那に於て活躍すべき足場を得んとして苦心焦慮せるの迹は明かに看取するを得べきにあらずや而に獨逸及び露國の獲得せる利權が如何なる運命に逢着すべきかは之を略述したるが故に此場合少しく米國の經濟的勢力扶植の狀況を一瞥せんとす（未完）

支那統一準備
財政及外交會議

徐大總統は一月上旬上海或は南京に開催の筈なる和平會議に依り南方との妥協を計畫すると同時に北京に於ては大總統府内に善後會議を開催し北方總代として和平會議に列席すべき朱啓鈐以下北京在住の重要人物を集め主として南北和議に關する諸問題を研究せしむる事とし差詰め北京撤兵の方法並に撤兵に伴なふ地方治安維持の手段を考究せしむる筈なりと云ふ右の外徐大總統は近々財政會議を北京に召集し周自齊、熊希齡、梁士詒、曹汝霖氏等有力なる財政家をして支那全國の財政整理方法に付き協議せしむると同時に汪大燮氏を主任とし我外交調査會に倣ひ外交委員會を設置する等支那全國に亘る諸般整理の準備に餘念なく要するに徐大總統は明春南北和平會議の終了と共に支那全國統一の策を畫策し居れりと信ぜらる

煉炭簡易製法（下）

（へ）水　混合用水は冬期に在りては成るべく少量なるを可とす然らざれば煉炭の乾燥に困難なるのみならず小規模の

◇製造設備　若くば自家用の製造に在りては乾燥不可能なるを以て寧ろ凍結せる儘使用するの覺悟なかるべからず而して含水量少き凍結煉炭は暖爐、風呂竈等の煙突を有する爐に在りては其の儘能く燃燒するを以て温所に貯へず且結氷期中に消費し得る見込のものは乾燥を要せずして燃料に供するを得べし製造方法は以上に依り用意せる材料を無煙炭百貫、粘土十五貫水三斗を能く粉末と爲せる無煙炭百貫を混合製作に容易なる適宜の容器に入れ別に粘土

◇十五貫に　水三斗を加へたる軟泥を混入し『スコップ』を以て一樣に反覆混和し之を適宜の大きさに盛り炭團型と中央に一個の穴を穿ち暖室内又は日光によく乾燥すべし又別法として無煙炭粉末百貫、木炭粉廿五貫、粘土十二貫石灰五貫、銀杏草一貫八百匁、水四斗を用ゆ先づ銀杏草一貫八百匁に水四斗を加へ一日間浸漬し後煮沸して適過し之に石灰五貫粘土十二貫を加へて軟泥狀と爲したるものを別器に無煙炭粉百貫木炭廿五貫を能く混和せるもの、中に加へ

◇反覆搗和　して炭團型若くは適宜の形狀に應じ或は型にて打抜くべし以上の配合割合は實際上多少の相違を生ずるを免れざるを以て適宜加減を爲すべし煉炭は最初焚付けの際多少の揮發物を出し異臭を放つ之れ粘著料として添加せる銀杏草及び無煙炭中に含有する硫黄等の不純物が灼熱せられ飛散するに由るものにして火勢の上るに從ひ漸次消散するに至るべし然れども健康上有害なるを以て成可く戶外にて點火し充分焚付瓦斯の發散するを見計らひ室内に移すを良とす

[illegible]南守、阪次[illegible]以下委員二十餘名[illegible]列席、先づ大要左の如き問題[illegible]
（一）資本と[illegible]ならしむる[illegible]産業界の發展[illegible]需者との關係[illegible]

[illegible]に大會を[illegible]同日更に意見の交換上委員に附託する筈（京）

[illegible]は買めに大變調を來すべきかと觀測せられたりしに反して今日迄の結果は關西に於て僅に染料其他一[illegible]
[illegible]期待されたるも今日迄の經過にては[illegible]十六日頃より些少の現金移動を見[illegible]
[illegible]を以て恐らく頂上に至るべしと觀測せられつゝあり尤も日銀の民間貸出は昨今逐日增加を示しつゝあ[illegible]

一大美裝と清新豊富の記事を以て現はれたる新年雜誌界の大異彩

婦人世界の新年號

新年號大附錄　子寶雙六（彩色美麗）

正月に必要な記事
■一富士二鷹三茄子の由來……武田豐四郎
■年賀狀の書方いろく（當世名士實例）
■年賀客への即席料理……婦人記者
■福壽草を咲かせる法……湘南花園主大矢好治
■數の子と田作の理學的說明……理學博士岸上鎌吉
■門松、屠蘇、餅、羽根つき歌留多の緣起……加藤貞次郎
■飾には何の意味あるか……小島泰次郎
■勅題の盛花と生花
■子供に屠蘇を飮ませる親へ……片山醫學博士

日本婦人の位置變化す……女子大學　麻生正藏
■臺所改良から得る食糧の節約……川崎正子
■衛生上一枚も缺かずキルクつめた實驗……前田[illegible]
■きれ地を改良すればムダが省ける……三輪田元道

養子緣組より生ずる難問題……穗積法學博士
■古今の繪に現れた日本美人の顔……[illegible]文學士
■日本髮の撫で付け方呼吸……美髮師　高木きく
■男學生に英語を教へた十年……北村透谷未亡人　北村みな子

失望する勿れ
肺病の治療法
△肺結核の治療方針……村井弦齋
△肺結核は不治に非ず
△自然療法精神療法
△信仰療法高山療法

廢物を活用したる婦人の實歷……下田歌子
□正月に面白き話　□物の初まり　□女の人傳　□談話會　□世間話　□家中で安産した話　□流行の下駄と鼻緒
□小兒の食物と手當　□子供の古袴利用で學校袴の作り方　□雜煮の料理法……弦齋夫人

胃病の人に食物療法……石塚左玄
□味のよき御飯の炊き方　□食物を柔く煮る法と自然の色を出す法……婦人記者

小杉天外作
靈鐘（附たよりの卷）
佳人麗枝は笹丸伯爵家を出奔した何故の出奔か我儘か變心か悲觀か　あら彼の女は既に懷姙の身といふではないか見よ元日祝賀の式場にて衣冠堂々たる靜馬伯を驚かす一少年の叫びを！

本號より掲載の面白い小說
銀水引……泉斜汀
銀水引とは何と云ふ題名ではないか、頃は文久二年十一月朝の事…所は江戸の[illegible]

一冊廿五錢　郵稅二錢　半年[illegible]　一年[illegible]
東京京橋　實業之日本社　振替東京三二六番

十二月十五日より三十一日迄
▲錦紗御召物、丸帶、縮緬長襦袢、紋付類高貴男物、其他長トンビ類
景品附歲暮大賣出し
安心して買へる正札店
あわじや
京城本町二丁目　江頭衣服本店　電話二三五番
京城本町一丁目　江頭衣服支店　電話九一七番

面白き内地向の贈答品のかずく
明太魚カラスミ、明太魚粕漬
漢陽高麗燒の賣行實に飛鳥の如し
朝鮮物產各種
漢陽高麗燒窯元
海市商會
電話二五〇番　二五四番
振替京城四八番

權威ある國產
專賣特許
自動車タイヤー
品質堅牢　耐久無比

宮内省、陸軍自動車隊御指定の光榮に浴す
發明者取締役　吉川靜吉
英米式の短所を除去し之に本社獨特の技術を施し體裁優美にして絕對にパンクせず遂に舶來品を凌駕する純日本式製品として名聲……世界に冠たり
石礫道路等に適する特種のタイヤーあり文に應ずる本社の設計所あるは誇りとする所なり
見本及定價表申込次第送呈
東京市淺草區玉姬町
日本護謨株式會社
電話下谷六〇八・五〇二三

福引景品進呈
歲暮大賣出
十二月十二日より卅一日迄
▲雜貨洋酒食料品菓子類其他御贈答品各種澤山取揃居候▼
△商品切手は[illegible]雜貨食料品等に通じ又東京、大阪、神戸[illegible]▽
京城本町二丁目
電話二七四七五番
龜屋

平和の春を目前にして
諸君は既に東洋第一の公評を博して世界的歡迎を受けつゝある
サンエス萬年筆を用意し給ひしや。思想の戰ひに事業の競爭に事務の敏活に必要缺く可からざる此利器を！
價一圓八拾錢以上―全國到處の文具店にあり
萬年筆用　サンエス・インキ　金參拾錢
關西代理店　大阪東區瓦町　澤井幸助商店

◇ウ氏の主張論點

ウイルソン氏は恒久的平和の爲め左記五項の重要論點を主張す可し（香港電報）
一、國際聯盟を講和の一部とす然らざれば米國は條約より脱退す
二、海洋自由は米國をして巨大なる海軍を維持するを要せず
三、獨逸よりの償金要求は公正なる基礎に據るを要す
四、講和豫備條件は機密を守る可きも最後の結論は發表す
五、休戰條約に調印せる諸國委員は新世界を代表するものと見る可く該代表者の間議は今後世界に於ける最高權威たる可し

◇獨休戰延長哀訴

獨逸政府は又復米國政府に對し休戰期間の延長及び食糧供給を哀訴し來れり（華盛頓電報）

◇米大統領の辯明
トリユビユーンの所報に對し

ウイルソン氏は下の如き聲明を爲せり『トリユビユーン（市俄古發刊紙）の巴里版は佛國に向ひ出發するに先だち余（ウイルソン氏）は平和を強行す可き聯盟に據り爲されたる計畫に賛成す可き旨の保證を與へたりと報じたりしも之れ無根なり余は國際聯盟を建設するのみならず斯かる聯盟の組織は平和を保持する上に絶對必要なりと思惟すれど平和を強行せんとする聯盟の特別計畫を未だ曾て是認したる事無し』（巴里電報）

◇米大統領渡英か

ウイルソン氏は近く渡英し重要問題を打合す可しとの情報あり（東京電）

◇電信電話國有法案提出

電信電話國有法案米國下院に提出されたるが右はウイルソン氏の承認を得たるものなりと（華盛頓電報）

◇海軍常備員增加

米國海軍の常備員を在來の十三萬一千人より二十一萬七千人に增加の件認可されたるが之等の員數には目下訓練中の水兵、機關兵、飛行兵等をも包含せり（華盛頓電報）

◇獨逸種墺人議會召集

某所着電＝獨逸墺太利人は一月五日國民議會を召集する事に決定し選擧人の資格を丁年以上の男女並に丁年ならざるも戰役に從事したる男子とし被選擧資格を三十歳以上の男女と定め議員總數は三十二名なりと（東京特電）

◇佛軍用船舶轉用

佛國政府は目下軍需品輸送に從事し居る船舶中より百萬噸を解放して米國輸出貿易用に轉用し以て戰時狀態より平和狀態に入る國內產業を補助する事とし目下其手配中なり（巴里電報）

◇葡萄牙內閣辭職

リスボン來電＝葡萄牙內閣辭職し國內平穩となれり（倫敦電報）

◇獨勞兵大會騷擾

獨逸勞兵全國會議は頗る騷擾を來たせりリーブクネヒトは獨逸は目下資本家の共和國なりと揚言し我が友なる露國の過激派は我が同志に加ふべしと主張せり茲に於て喝采及び惡罵交々起り騷々耳を聾し許り爲に議長の聲も葬り去られ議員等は喚鳴り散らして威嚇し合へり（倫敦電報）

◇スロヴアツク軍獨立宣言

某所着電＝十二月十二日東部モスビアに於るスロヴアツク軍はチエツク民族より分離して獨立を宣言せり（東京特電）

◇支那施政方針

廿一日國務會議に於て二千餘語に亘る施政方針を近く宣布に決定せり（北京特電）

◎獨植民地處分
國際聯盟に一任

戰爭は人道の爲めの爲に非ざるは……

◇講和建議案可決

二十一日午後參議院開會梁士詒氏の議長辭職案を可決し次いで政府に對し左の建議案を爲す事を可決せり（北京特電）
一、講和會議には庚子賠款償金取消要求を提出する事
二、獨墺兩國の財產處分の件
三、歐洲戰爭期內に日支國際間に發生せる親善阻碍（日支協約の事）の案を講和會議に提出し相當の處分を求むる事

◇在支各公使會議

廿日正午聯合國公使會議を開き在支獨人財產處分其他及び支那時局に就き協議せり（北京特電）

◇北方代表增加反對

十九日李純氏より電報にて西南と意志疏通の結果會議地を南京と爲すに對し南方が承諾せんとする模樣ありと報じ且つ南方は一省一名宛の代表者を會議に列席せしむ可く主張し居れりとて北方の意嚮を照會し來れるが北方は右代表增加に反對なり（北京特電）

◇支那國防軍編成

從來編成中なりし參戰軍は今回更めて國防軍となし四師團に編成し段祺瑞、曲同豐、陳文運、馬良の四氏各師團長となり段祺瑞氏は國防軍總司令官、徐樹錚氏は同總課長たる可しと（北京特電）

◇議和代表者の會議
北方地點に就ての示威運動

十九日北京中央公園にて議和代表者會議を開き十代表者の意見の交換を爲したる結果廿九日北京發南下し北京政府の議和に對する意見を示す事に決せり、一行は先づ南京に至る可く這は地點に就ての北方の示威行動なると同時に開會を速かにせんとする意圖なるが如し（北京電）

◇錢總理南方難詰

錢總理は長文の電報を發し岑春煊、李純兩氏に對し西南が歐洲講和會議に代表を派遣せるを詰せり（北京電）

◇御下賜金五百萬圓

皇室より今回政府の高等敎育機關擴充計畫に對し御下賜あらせらる、恩賜金に就き漏れ承はるに元百萬圓の巨額にて右は二十三日公表さる可く同時に追加豫算綱要の發表ある可しと（東京特電）

◇近衛公講和委員隨行か

近衛文麿公は二十日興津に西園寺侯を訪問せるが多分講和會議に隨行す可く西園寺八郎氏夫妻も同行の噂あり（東京特電）

◇總督出發

長谷川總督は神田秘書官大島副官を隨へ二十二日午前八時半東京驛發歸任の途に就けり鈴木度支部長官其他朝鮮關係者の見送り多數なりき（東京特電）

◇中島文學博士

東京帝國大學敎授文學博士正四位勳二等中島力造氏は豫て肺炎のところ二十一日午後零時四十五分心臟痲痺を起し終に逝去せり（東京特電）

▲略歷　故中島力造博士は島勘右衛門の八……東京帝國文科大學敎授の職に在りて心理學、倫理學第二講座を擔任し專心育英に盡瘁しつゝありたり享年六十三歳

◇臨時外交調查會

臨時外交調查會は廿二日午前十時より首相官邸に開會田中相相欠全員出席對支外交問題時局問題等を協議正午散會せり（東京特電）

◎朝鮮軍人臨時手當支給規則

二十一日陸軍省令第四十五號を以て朝鮮軍人臨時手當支給規則を定めたる旨公示ありたり（東京特電）

◎開戰以來の物價騰貴率
高久鮮銀課長談

休戰條約の締結並に講和近しの氣構へにより物價は大勢に於て漸落の傾向を歩まんとしつゝより乃ち京城に於ける重要商品物價の如きも十月を最高とし十一月は小落を示したるは昨報の如く十二月は更に幾分軟調を辿りつゝあるに似たり今大正三年七月開戰以來大正七年十月の最高相場まで物價が如何に上昇の一路を辿りしかに付高久鮮銀第一課長は曰く大戰前大正三年七月と大正七年九月（朝鮮は十一月）に於ける倫敦、紐育、東京の物價調査表を見ると何れも二倍以上の昂騰率を示し居れり乃ち左表の如し唯此調査は倫敦、紐育、東京、京城四地の同樣商品により調査されしものに非ず京城は予の手許にて毎月行ひ居れる重要主產品輸移入品四十八種の物價に指數算出の基礎を置き東京は日本銀行の調査、倫敦、紐育は共に雜誌掲載の表をこれ旁々商品を均しく限らざるため四地間の昂騰度を比較する事は危險なり唯物價騰貴の大勢を概觀するに留むるを可とせん

年月	京城	東京	倫敦	紐育
三年七月	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇
同九月	九九	一〇二	一〇八	一一三
四年九月	九六	一〇〇	一三〇	一一三
五年九月	一一八	一三三	一七三	一三三
六年九月	一七二	一七二	二一〇	一九二
七年九月	二〇四	二三一	二四三	二一〇
同十月	二四四	…	…	…
同十一月	二四一	…	…	…

乃ち京城は物價が戰亂の影響を受けし事比較的遲れしもその騰貴率は一〇〇に對する二四四にして甚だ急激を示し居れり尤も此の內より二三を除けば全體の指數は可なり低下す故に單に指數に於て京城が紐育より上にありとて直ちに京城の物價騰貴率を非常に過重視するは妥當を缺くべき乎

◎鮮米買附多し

昨今鮮米の增加と收穫の減少とに由り買米持越しの多からざると更に外米入荷の如くならざることは米價の大勢を依然底強からしめつゝあるが內地に於ける實米の不足と朝鮮米の大口買ひ附、誘致し各地に於ける內地筋の買進みは少からざるものあり之等は定期の受渡米並に買ひ繫ぎ米に準備せらるゝものならん如く產出正米相場の存外堅調を示せるは右の事情より來れるが如し尙ほ東拓にても昨近相當の四萬石を放出せしが同社收入米は米質良好に付內地筋並に朝鮮大手の申込み少からずし會社は米價の前途如何は問題外とし取り急がざるもの、如し

◎出穀と船腹

各地出穀は依然旺盛なるものあり群山仁川釜山三港の廻著最も振へるが船腹は商船尼ケ崎其他の社外船の來航多く必ずしも不足せず運賃亦幾分軟調の傾きありと

◎陸上設備豫算
元山築港

大正八年度を以て完成すべき元山築港に對する陸上設備は築港着手と同時に今日に至るも尙研究され且つ計畫しつゝあり大體に於ては旣に決定せしもの、如く聞く處に依れば來年度の豫算に計上されたる事は疑ふべからざる事實なりと云ふ勿論議會は通過すべく之れが豫算は約百五十萬圓見當にて大正八年度より三箇年の繼續事業として行はるゝものなりと陸上設備の主なるものは稅關の移轉、鐵道の引込み、倉庫の建築及び赤田川の付け換にして赤田川工事の如きは元山驛前を一直線に元山里海岸に出づるものにして大正九年度には竣功の豫定なりと

◎局子街鮮人民會

昨年八月間島龍井に朝鮮人居留民會を組織し我官憲監督の下に內鮮人の公共事業に關し種々施設を策し先づ第一着手として衞生事業を開始し好成績を擧げつゝあるが今回局子街にも亦組織し役員は官選にて大々的に活動の豫定なりと

◎國境牛牛開放

際し牛車の朝鮮國境通過は開房牛疫の祟りを受け絕對に嚴禁せられ總ての不便大なるものありしが北鮮間島牛疫は本年五月以來跡を絕ち今に於ては何等顧慮を要せざるより間島の我官憲は屢々朝鮮當局官憲と交渉する所ありたる結果愈々去十四日より國境牛の交通遮斷を撤するに至れりとされば島より會寧驛まで牛車の交通は時恰も氷上交通の時期に際し運輸界に取りて至大なる便益を得る事となれり

◎大邱綿絲布賣行

卸附近に於ける近來の綿絲布の賣行狀況を聞くに綿絲に在りては一般來の流行感冒の爲め家內工業を休止され自然綿絲の加工遲れたる關係上綿布を購買する爲め賣行悪く昨年の當時に比し約半數の取引高を示せり之に反し前記の理由に基因し綿布は益々高調を辿りつゝあるに拘らず昨年對比約三割方の賣行好況を呈せるは全く地方農家其の他一般に懷合の豐富なるを示す證なりと

人事消息

▲島村吉氏（久原鑛業平壤出張所長）廿二日夜入京天眞樓へ
▲齋藤思北第一部長　同上不知火へ
▲嚴智漸氏外四名　二十二日朝京

◎鈴木長官　鈴木度支部長官は今回議會出席の爲め發に東上東京本郷區南片町十番地二ノ三に下居せり

◎三井物産の張宴　三井物産京城支店にては來る廿八日千代本に於て忘年會を開く由

◎錢內閣顏觸決定

錢內閣顏觸は左の通り決定し廿一日議會に同意案を提出せり（北京特電）
外交總長陸徵祥▲內務總長錢總理兼任▲陸軍總長靳雲鵬▲海軍總長劉冠雄▲財政總長龔心湛▲敎育總長傅增湘▲司法總長朱深▲農商總長田文烈▲交通總長曹汝霖

◇對支借款拒絕

二十日聯合國公使會議の結果最近に支那より要求し來れる關稅剩餘借款は目下尙ほ其の時機に非ずとし拒絕することに決したり

▽四國銀行團關係者談

四國銀行團關係者の談に據れば該借款に關し支那側が非公式に運動し居るは事實にて銀行團としては南北妥協成立迄には相當の時日を要す可きを以て兎に角妥協成立の見込立次第之に應ずる考へにて準備中なり（北京電）

◇セミヨノフの奇禍

浦鹽來電＝十九日夜齊多の芝居小屋に於てセミヨノフは爆裂彈を投げ付けられ負傷せりと（東京特電）

◎臨時手當

……日某所着電＝東京……ふべしと述べ居れ……二百萬圓奏任官約四千萬圓、判任……割合は即ち勅任官に何割、判任……に何割と云ふが如き割合に就ては……以下約九千八百萬圓合計一億四千……る二千圓以下の官等官（支給額俸……給の二割五分及び判任……の兩箇月に亘りて手當を受けつゝあ……割五分增の手當を受る勘定なり……

鳥瞰錄

朝鮮人の風俗も年々西洋化して行く▲早い話が洋服や和服の多くが用ゐ出したことは何人も認むるだらう▲此儘十年もすぎたら朝鮮固有の風俗習慣は或は廢れ或は變化し、その純粹なものは少くなりはせぬ乎▲乃で例を引くは甚だよろしくないけれど、米國の紐育に於てインデアンに關する物館の施設は必要でないか▲今の中に準備せぬと、後年その必要を感じ出しても出品を蒐め得ぬかも知れぬ或る有力な者は話してゐる▲歲暮になつて忘年會がはづむ、本府や所屬官署の課とか所とかでは大抵一席位やつてゐる▲その忘年會には多く課長所が若干の補助をし課員が醵金する云ふ行き方のが多いな▲課長の年末賞與金は課員のためぢやと云ふ見地より課長がそのボーナスの幾割かを割いて課員一年の勞を聊かでも犒らうと云ふ例は乏しいやうだ▲遞信局の矢野監理課長は毎年暮になると課員の本官以上を一夕馳走すると三日前も今年の分をやつたさうぢやが、面白い感心な人だと云つてゐるものがある

主宰 秋好善太郎君
挿繪の全部寫眞版
ポケツトリ雜誌一月號
大增頁數紙定價平常の通り
毎月一回發行
寫眞講談
◎雜誌界に於ける前代未聞の新しき試み
大正八年一月號出來
◎創刊前から熱狂的評判の美しい雜誌
◎助言の仇討　伯知
◎奥州行脚　早川
◎女八變化　小金井
◎愛の乃木大將　若林
◎鎌田五左衛門　風細
特別大懸賞募集
◎賞金二百五十圓
◎加藤武者之助　風野
◎女の思　北島
◎辰巳氣質　前田
◎吾妻川　武田
◎賴母の妻　海賀
◎黃金の餅搗き　三遊亭
定價 弍拾錢
發行所 東京 株式會社 東光園

春陽堂發行
新案 當用日記
造船講義錄
技術員の缺乏に應じ急に通信敎授を爲す
東京 春陽堂

實用最新 朝鮮 全道府郡面 名稱 沿革 對照便覽
越智唯七編纂
小笠原寬先生序文
京城 廣益書館

大日本酒造寺家（?）
白鶴
品質純良 衛生無害
攝津灘御影町 嘉納合名會社
發賣元 京城本町二丁目廿番地 前田酒店

御進物は本場みかんに限る
果實青物委託販賣 問屋 岩城商會
京城南米倉町

御買上金壹圓毎に景品券進呈
鞄は製造元の 古賀鞄製造所
京城明治町二丁目 電話一八三三番

御席貸開業廣告
京城旭町一丁目 新千代本

お歲暮には實用向の御進物は
▲樽詰 ▲箱詰 ▲上袋入 ▲砂糖切手
京城南大門通 上田商店

○食糧問題の上からも……未成年者禁酒法

‖は等閑に附されない‖杉山衛生局長談

政府案として今議會に提出されん

衆議院議員の一手建議たる未成年者飲酒禁止法と云へば每議會の恒例案となりて人は又例のかと言ふが根氣よく提唱して止まなかつたために時勢は一轉して今では政府部內で反對を唱へてゐた政府部內でも八分贊成者が出て遂に衆議院を通過した同案を握り潰した貴族院も

▲時局に鑑みて政府案として出して欲しいと言ふ希望を抱くに立至つた殊に內務省の保健衛生會に於ける未成年禁酒取締法案特別委員會は十八日の部會で原案を可決し更に同總會を開き審議決定する筈であるが同案の趣旨及び附帶建議案の要項は

一、現今我國に於ける未成年者の身心發育上に鑑み法制上に於て徹底的に飲酒取締法を制定すること

二、我國の現狀に鑑み酒の釀造高に關し或程度までの制限を大藏大臣に建議すること

三、小中學生に對しては絕對的禁酒を行はしむる樣文相に建議すること

四、强度のアルコールを含有する洋酒の輸入を制限すること

と言ふのであつて他分原案通り決定して同案は政府から今議會に提出することになるであらう右に關し杉山衛生局長は語る

▲未成年者の飲酒を禁ずることに就いては誰しも異存はないが何時でも取締困難と云ふので兎角實行が行惱んでゐる此前の衆議院を通過した案は未成年者に酒を賣つた者を處罰すると云ふので政府委員も此取締法は實行出來ぬと說明した若し政府から今議會に提出するとしても如何なる取締法がよいかは衛生局の方で意見を云ふ限りではないが國民衛生の上から觀て取締さへ出來れば是非とも禁じたいことである米國の如きは各州殆ど禁酒法案を可決し露西亞でさへ禁酒法が勵行されてゐる日本で未成年者の禁酒法が行はれ得ないと云へた義理であるまい一面此

▲食料問題とも關係がある年々酒の原料として消費される米の高は約五百萬石である而して一般國民の飲酒の習慣は多く未成年時代に於て養はれ勝ちである從つて食料問題の上よりしても未成年者の飲酒を等閑に附する譯に行かないではないか（東京）

□御滯米中の東伏見宮殿下

東伏見宮依仁親王殿下は隨員と共に御乘船迄の餘暇を利用され加州デル、モンテに赴かれたり（桑港電報）

○戰後の商戰 ‖に備ふべく 獨逸は 紛亂の裡にも…

獨逸國內混亂の狀況は相亞いで傳へられて居るけれど國內に於る實業方面に於ては政府抔には更に頓着なく早くも今後に於ける世界の商戰に乘出さん準備に怠りないと云ふ外電に據れば從來軍國主義の獨逸に於て

▽武器製造に偉大なる努力を傾して居つた有名なクルップ社も今度は愈々會社の設備を變更し軍需工場に於ては今後一切武器の製造を廢止し平和的の材料のみを製造すると決したと云ふが首都伯林に於ても兵器其他戰爭材料の製造に從事して居た多數工場中一部を除いては全部

▽玩具工場 硝子工場等の平和的製造方面に變つたものが多くあると云ふ是につき消息通は語るクルップ會社はライン河の左岸に在つて同工場には開戰前十二三萬人の職工を有して居り會社は是等多數の職工の爲めに一の植民地的部落を作つて居た程である今度五萬人の職工を解雇した所で尚多數の職工を有して居るのだから是れが

▽商戰を的に平和的材料の製造に從事したら相當注目すべきものがあらう又伯林方面に於ても既に五六の大工場が平和工場と化したと云へば獨逸商人の今後の商戰に對する準備の程が偲ばれる

○火災頻出す 又復仁川火事

廿二日朝刊所報の如く廿一日午後八時三十分仁川內里九十七番地鬼頭錄次郞氏の裏倉庫に出火あり通報と同時に時を移さず各消防隊の出動に依り漸く倉庫半燒二戶にて十一時三十分鎭火するを得たり出火倉庫は堅丈なる煉瓦造りにして四邊には堅固なる

▼防火壁を以て繞らしたるを以て消火上には頗る困難を感じたりしも之は幸ひに延燒を免る・を得たり附近には倉庫に隣接して本庄酒店の酒倉あり其他大商賈の倉庫密櫛せる場所なりしを以て一時は頗る危險の度を增したりしも從事消防手其他必死の努力により鬼頭商店母家への延燒をも喰ひ止むるを得たりしは最も幸ひなりし

▽原因に就ては確實なる事判明せざるも在庫品は洋反物雜貨類等にして別に可燃性の貯藏なきより見れば或は出入の者誤つて火氣を落したる事等に原因せるに非ずやと思はる損害は在庫品其他の燒失併せて約七十五萬圓以上に達すべしと

▽鬼頭氏の寄附 前記の如く倉庫二棟半燒の厄に遇へる鬼頭錄次郞氏は火災當時の消防隊の勞を謝する意味に於て金三百圓を消防へ寄附し二百圓は器具料費として合計五百圓の寄附を申出でたるは奇特と云ふべし

○東洋へ ◇飛行航路を開始し ◇貨客を運搬せん

圖飛行禁止令撤廢を待ち……

ハンドレーページ社は語りて曰く軍用以外の空中飛行に對する禁止令が撤廢せらる・を待ち直ちに旅客及び貨物運搬の爲印度及び東洋への飛航航路を開始すべしと（倫敦電報）

▽英印間飛翔は樂だ

山內大佐談

右に就き海軍省出仕の山內大佐は語る『英國のハンドレーページ式は米のカーチス、獨のゴータ、佛のボアザン、伊のキアプロニ杯と共に夜間爆彈投下用の大型飛行機で

◇最大の物は千二百馬力、翼幅は約百二十呎二層の飛席で二噸の爆彈及び六人を乘せて最大速力百二十哩を出し得る有力のものである、此機は燃料を充分に積んで八十時間の速力を出し空中で操縱者が交代すれば樂に三千哩を一氣に飛翔し得る爲英國から印度位は途中一二度着陸すれば樂に飛べる併し問題は費用の點と目的の如何で米國の樣な燃料安價な國では多額の費用を要しないが

◇飛行郵便杯をやつて行けるが我國のやうに燃料の高い國では一寸考へ物である、又飛行機を旅客運搬に使用する事は不可能ではないが飛行船の方が多人數を運べて可いと思ふ』（東京）

○贅澤に…なつた此頃の衣服

◇錦紗、刺繡が大流行◇ 仕立も騰る！

今年は一般に懷具合がいゝので正月のお晴衣が素晴らしい勢ひで買ひ取られて行くので各呉服店はホクホク喜んで居る從つて市內の各仕立屋は何處も彼處も反物の山で埋まつて居る

◇仕立賃も段々上つて來て今年は羽織一枚が五十錢以上一圓位の物は上物になると一圓五十錢から一圓九十錢模樣入は二圓二三十錢で帶は生地によつて相違があるが先づ八九十錢から二圓二三十錢で袴は大體一圓二三十錢處であるが今年は一般に贅澤になつて來て女の羽織は錦紗縮緬の刺繡入りが非常に多く其刺繡も極小さい品のい・、花か何かをお納戶、藤色

◇青磁色等のおとなしい色で袘襟から裏へかけて現はすのであるが近年は羽織に主地色の縫で紋を刺繡する事が官吏間に流行つて來た此外小供用の羽織や衣類にも盛んに刺繡せられる傾向がある或仕立屋では最う十二月に入ると仕立物お斷りの札を貼り出して居るがソレでもドンドン持込んで來るので閉口して居ると語つて居る

年末雜觀（六）

『折角の金時計』日一日と市中は雜沓を極めて行く中にも本町の夜は又格別だ其の中にはのんきな連中が此所彼所にぼんやりとして店先を眺めて居る、さる樂器店の前には黑山の人が集いて居る店內からは自働オーケストラの音がブーヂャンヂャヤガアーブーと景氣のいゝ音を立てゝ流れ出す、一人の男がふと時間を見樣とすると折角の金時計は何時の間にか無くなつて居た、懷中物御用心御用心——とみー

○寡婦を告訴

淺ましい意趣返しか

大邱東雲町一の四河野林栅は達城郡芳村洞居住吉永美津なる寡婦を相手取り大邱憲兵分隊に家宅侵入竊盜罪の告訴狀を提起したるが右は告訴人河野と美津の妹某と關係ありたるを奇貨として家中のものを持出して失敗し或は此細なる事を借て右告訴に及びたりとの風說あり（大邱）

廣告

負傷ノ際ハ早速御見舞被下難有存候未ダ快ニ候得共執務ハ差支無之候間乍他事御休神被下度候
京城府仁寺洞百三十六番地
大正七年十二月二十三日 高橋章之助
電話二五六番

○立山獨心中

娼妓へ面當のため

京城府新町十一番地遊廓隆吉（三）は十六日下後京城府黃金町一力亭に於て劇藥ストリキニーネを服して一人心中を企てたり同人は大連居住の者なるが同地小島一料理店抱へ娼妓石井キクエと馴染み居たるがきくには他に情夫ありと邪推せる折柄きくが立山一力亭に鞍替へせしにより其後を追ひて同地に赴き當てつけの爲め一人心中を企てしものならんと（立山）

○小錢が無いため……

‖買物が出來ぬ 電車から追ひ降ろされる‖

◈所へ銅貨が五千圓來た

全國の各都市を通じて每年末には必ず小貨幣の不足を告げる、我京城でも每年御多分に漏れず年末になると商店、郵便局所其他到る處で小錢が足らぬ

◈剩錢が無いと云ふ騷ぎが持ち上る、本年末も例によつて小錢大不足とあつて各商店などは一錢二錢の剩錢に窮し葉書や切手を以て用して居るところが尠くない、客の方では此の剩錢の問題で買ひたい品が買へなかつたり『小さいの御座いませんか』などゝ店から無愛想な訊問を受けて顏色を變へて退却する客もある、電車に乘つては剩錢が無いとあつて折角乘つたものを途中で

◈追ひ降されたり、飲食店では食つた後で剩錢問題で解決が付かず揉めるなどの滑稽もある。それで朝鮮銀行では此の小錢不足に就て策として一般朝鮮の本鮮銀行に對して銅貨の發送を再三交涉し漸く二十三日前に一錢銅貨五千圓だけ到著したのでこれが鮮全道の各都市に行き渡つたら錢不自由が緩和されるであらう十錢二十錢五十錢等の小額紙幣は今の處充分潤澤であるし一圓紙幣等は有り餘つて居る位だから銅貨白銅貨さへ行き渡れば

◈問題は無いことになる。鬼に角今日のところでは店には小錢を持つて居る客からばかり小錢を絞らうとするから商店などが少いから益不自由を誘發することになる

○蓮の化石

愛知縣下で發掘

淨土宗本山へ寄附

蓮根の産地で有名な愛知縣春日郡水野村の前田賢氏は此程長さ一尺餘の蓮根の半化石を掘り出し直ちに淨土宗總本山の旗安執事の處へ寄贈したがまだ純然たる石質に化して了はぬので多少の水分を含んで恰も拭へば頗る光澤があつて恰も如意のやうに見られる印度、支那、日本を通じて蓮根の化石はこれが初めてだとあつて本山の評判になつてゐる（東京）

神前結婚

二十日京城神社に於て取り行ひたる神前結婚は左記の如く五十組に達したるが中にも主なる者の名左の如し

（新郎）鮮銀書記但波弘（新婦）足立十八銀行支店長令孃直子（媒人）寺田恒ム▲（新郎）海軍大尉古閑石藏（新婦）總督府醫院看護婦長令孃トシ子▲（新郎）三井物產庶務主任本間俊介（新婦）東拓技師令嬢四子（媒人）高野省三▲（新郎）鐵道局事務官岩崎悠（新婦）總督府醫院醫官（媒人）人見次郞▲（新郎）水原勸業模範場技手王城武次（新婦）總督府事務官令孃安也子（媒人）小原新三▲（新郎）京城醫學專門學校助教授藤田宗道（新婦）鈴木稻子（媒人）植村俊二▲（新郎）總督府事務官田中三雄（新婦）渡邊亮子（媒人）岡本桂次郞▲（新郎）元山法院支廳判事中川文雄（新婦）榊原スヾ子（媒人）波多野平四

○市民的クリスマス祝會

京城基督教青年會は每年クリスマス週間第一日に於て其の祝賀會を催し其會合は常に青年會の大なる催しにして盛況を呈したるが殊に本年は歐洲大戰終局の第一のクリスマスとして大々的の準備と趣向とを以て其所も鍾路中央基督教青年會大講堂を以てすることゝし廣く有志者を招待し市民と共に基督降誕祝會となさんとし左の順序に從ひ開催する由なり

基督降誕祭祝會執行順序 司會者 松本菲太郞氏

第一部

一、讚美歌五十九番 一同

一、祈禱 中村牧師

一、聖書朗讀 吉木牧師

一、開會の辭 渡邊暢氏

一、演說 丹羽淸次郞氏

（五分休憩）

第二部 司會者 星野德治氏

一、英語朗讀（舞寸前レ少女） 高等學部 紀伊岡陶一君

一、獨唱 （兩班）光久吉君

一、マンドリン獨奏 （日高）一俊君

一、カレツヂ、メロディー （合唱）北插義介君 ニワパ

一、セロ獨奏 保田平昇氏

一、獨唱 岩崎寬子

一、ヴァイオリン合奏 外七名

一、アリヤ及ハンターズ、コーラス

一、タイホイゼルマーチ（ワグナー作）

一、演劇 日曜學校 會員 有志

一、ヴァイオリン獨奏

サーンドパレー（舞踊會の光景）ペリオ作 岩崎寬

一、獨唱 スミス氏

一、談話（少年ヨセフ） 一羊

一、史劇（エジプトの大宰相） 會員有志

一、福引 同

一、閉會 一同

以上

會場 鍾路中央基督教青年會

故鈴木校長弔慰及奬學資金寄贈者名

（第十六回）

一金拾圓 仁川 鈴木倭

一金壹圓 仁川 片山一郞

一金壹圓 仁川 曾根田富雄

一金五圓 私立普通學校 職員一同

一金五圓 北京 宅野田窯一

一金壹圓 草梁、道 山崗勢次

一金五拾錢 立普通學校 水橋ツユ

一金壹圓 咸興 赤塚敬雄

一金壹圓 全北咸興公立普通學校 職員

一金壹圓 大和町 一志士

一金壹圓 京城 山口義雄

小計金貳拾七圓五拾錢也

累計金參千四拾四圓九拾八錢五厘

社告

例年の通り十二月分支拂は十二月廿五日午前十時より午後五時迄と相定め申候

十二月廿日

京城日報社

京日案內

一回前金〇〇一回一圓（以名一回）

○簿記係一名入用

希望者は自筆履歷書携帶乞來談 大門外 齋藤商店 電話三二六番

外務員招聘 業務大擴張の爲め社員數名採用希望者は履歷書持參面談 地方は 京城黃金町二丁目 朝鮮生命保險株式會社

金細工職人募集 京城黃金町二丁目 電話一〇一五番 喜多金光堂

○袴專門 並に仕立、賣買、類卸小賣 可受迅速に謹進可仕候 本町四丁目十五番地 山崎商店

京城本町 高等御料理 幕年中勉强 席作出し共迅速配達仕候 新世界 電話二八二番

○レール 十インチ中古品一哩右賣却す 京城永樂町二丁目 榮洋行 電話一二四七番

李太王殿下 御嘉納品 品質撰擇

本品ハ純良白蔘ヲ原料トシテ精製セルヲ以テ金褐色（紅蔘ト同色）ニシテ粘著力强ク郁佳ナル雅味ヲ有シ、尾蔘ヲ原料トシテ速製セル暗黑色ニシテ苦味强ク鐵臭焦臭ヲ有スル粗悪品ト同視スベカラズ。

强壯、補血、興奮、鎭痛、發汗、收斂等ノ効力ヲ有スルヲ以テ○神經衰弱○老衰○冷症○精力減退○チフス○營養不良○レウマチス○貧血○婦人病○肺病○テリー○心臟病○ヒステリー○腦病○馬拉利亞○胃腸病○慢性病○病後ノ恢復ニ應用セラル

上製 十瓦入 一圓五十錢 二十瓦入 二圓八十錢 四十瓦入 五圓四十錢
特製 十瓦入 一圓 二十瓦入 一圓八十錢 四十瓦入 三圓二十錢

特約大販賣店 京城日報社代理部 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番

移轉廣告 當會今般左記の處に移轉致候間此段廣告仕候也 京城南米倉町四番地 京城俱樂部前 電話二〇八三番 鮮鑛業會

朝鮮總督府事務官工藤壯平妻政子儀永々病氣の處本月廿二日午前一時死去致候間此段通知申上候追て葬儀は二十四日午後四時三十分南山町本願寺に於て執行致候

女 博子 親戚 工藤最一 總代 太田顯藏 友人 森安連吉 總代 久芳直介 郡山智

松飾り始まる ‖二十二日所見‖

○問題諮問 を附議す 一、資本と勞働との關係を圓滑ならしむる施設 床次內相說明

勤もすれば勞働爭議を惹き……憂ひあるに就き將來……り豫め相當の施設、……要あり……事局の……より先づ第一項より審議に入り……高野、富岡、久保田、桑……村、矢橋……各委員より……

○歳晚金融豫況

現在五星霜に亘り歐洲戰亂が急轉……二面入が破綻を示したる外格別の動搖も見ず先づ以て表面は例年と……ざるにあらざるも槪して落着を持へる觀あり金利も差して變化を示さざるが如く結局大晦日年同樣……る一方正貨準備は反對に減少の傾向あれば旁最末日前後の兌換券發行高は或は十億圓を突き限外發……

ひと子（六十七）

北島春石作　森田久畫

腕力（二）

飛夜に凍る護國寺の鐘も陰に更けて、いくら飲んでも傍から醒めて行く眞夜半近く、ほと／＼と雨戸を打叩く音。

『婆あや、婆あや……兄さんはもう寢たかい。』

鐵造はその聲を聞洩さなかつたけれど、今頃何しに歸つたかと言はぬばかり、さも面倒臭さうな顏ぬ顔で、相變らず酒盃を離さずにゐる。

『ちよ！老婆の豚に寢坊してやがる。』と、戸外では舌打高く『ちつこもかな奴ちや仕方がないが……今夜も兄貴は留守かしら。』と、自棄に靴先で雨戸を蹴上げた。

『おい！何うしたんだ。主人に締出しを喰はせる奴があるか。』

『お麺い！』と、だしぬけの一喝鐵造は手荒く表戸を引開けて『さあ、遣入れ。』

『や、兄さん。』

『兄さんかぢやない。』と以ての外の不服面で、

『今頃まで何處をのそ／＼歩いてゐたんだ。』

『それが……少し混入いた事情がのりましてね。』と、軒下の暗に佇む女を顧へつて呼ぶ『さあ、遠慮なく此方へ入つて下さい。』

『何だ？同伴があるのか。』

謙一は無言で頷いた。

『馬鹿だなあ、さうならさうと言へば好いに……』と、鐵造はいさゝか機嫌を直して『無論、貴様が引張込むからは女だらう。』

『而も兄さんの知つてゐるものです。』

『ハテナ、早速には誰とも判斷されぬが、何時までうろ／＼して居らずと早く入たら何うだ。』と言ひつゝ、鐵造は元の席へ引返す。

戸外では猶も二言三言囁き交した後、謙一は嵩張つた荷物を運び込む氣勢したが、やがて、表戸はピッタリ鎖されて、謙一の後から淡紅子が顏を出した。

『暫らくでしたのね佐久間さん。』

『お、、貴女は。』と、渺からず狼狽したらしく、鐵造は男女の顔を見較べて、

『高松の淡紅子さんでないか。』

『ね、、こんな深更にお邪魔しまして……ほんとに相濟みませんわねえ。』

『何有、別に迷惑とも感ぜぬが……』と、未だ不審の晴れやらぬ體『謙一！貴様は以前から淡紅子さんと別懇だつたか。』

『さうです。』と、能ある鷹は爪を隠すと云はぬばかり、謙一は今夜始めて氣注いた兄の迂闊さを冷笑しながら『今までにお打明けしようとも思つたんですが、兄さんが中洲の家へ出入するから、わづかな油斷から破綻を生じてはならんと、實は秘密主義を採つてゐたんです。』

それまで聞けば、その後は何事も悟り得た。

『今夜は特別寒かつたらうから、まあ一杯飲んだがよからう。』と言ひつゝも、女の方へ火鉢を押し出して『貴女も此方へ寄られたがい。』

『ね、、ここで澤山。』

『はッは、、、、悟う解れば一切細糾交際、何うも遠慮されては面白くない。』

謙一は渇してゐたやうに酒杯を執上げ、まづ懸け落け三杯。

『淡紅子さん、兄もあゝ云ふのだから、遠慮は抜きにして氣樂に手足を延ばすさ。』

『うむ、この調子が女に持てるんだな。』と、濡らぬ事に心しながら、鐵造も相變らず酒杯を離さずにゐたが、『癪へ腹ちがひの姉妹にろ、姉の志保子が家出した餘燼もさめぬのに、今度は又淡紅子さんの番と來たら、さすがの高松夫婦も膽を潰すだらう。』

『大方、今頃は斷付いた時分だ……もう明日は日本を去るべき豫定だから、如何に先方が血眼となつて狼狽しようと、我々は何處吹く風と濟ませてゐられます。』

『ふゝむ。』と、鐵造は始めて酒杯をおいた『すると、お前達は高飛ひする了簡か。』

◎豆の食べ方

▽米を節約し
▽脚氣を豫防

＝徳田殖産部調査＝

白米の値が未だ高いので種々な方面で食糧經濟の説が盛んであります此際大豆や脱脂豆を奬勵することは非常に必要なことで、徳田男爵の殖産部では此の程此の大豆や脱脂豆に就いての調査を發表しました、左に紹介致しませう

◇脱脂豆　と申しますのは大豆を機械にかけ皮を除き油を絞り取つたもので既に大阪邊には機械を備へ、滿洲から大豆を取寄せて、此脱脂豆と豆粉を製し、諸方へ賣り捌いて居る會社があります一體我々日本人程大豆をよく研究して副食物とするものはありませまい、味噌、醤油、豆腐、油湯、飛龍頭、高野豆腐、燒豆腐、納豆、黄粉、湯葉など

◇皆大豆　の形の變つたものであります。丼して之を副食物として居る故、蛋白質と含水炭素との調和が能く出來自然に最も進歩した食物となつて來て居るのであります。唯が昨今のやうに米が不足では、唯に此の大豆を副食物として用ゐるばかりで無く米の代用品とすることも必要であります夫に就て二三の食方を御紹介申上げませう、先づ

◇大豆を　一日程焙で煎り潰すと豆の皮は剝けて半割れとなります、夫れに鹽を少し加へて米に混ぜて初めから炊きますと、豆の匂ひは消えて香ばしくなり一二割交ぜても少しも苦になりません次には大豆を煮にし、柔かになつたものに鹽を少し加へ、米に混ぜて炊くのです、第三は脱脂豆を醤油で煮込んで之れを飯にかけて食るのです

◇副食物　にもなれば、米の代用にもなり餘程米の代用となります、此の豆を煮る時、昆布とか葱とか他の野菜とか加へるのは在來の法ですが之でも其の効果は十分にあります、丼して米の二割位の大豆を食ることすれば、白米八合（一升五十錢と見て）四十錢、大豆二合（一升十六錢として）三錢二厘合計四十三錢二厘、之に煮る手間等を見ても

◇一升に　對し約六錢餘の經濟になります、丼して米を二割節約が出來れば一箇年一千萬石節約することが出來るのです、御間接の利益として斯く米と大豆とを程よく用ひる時は脚氣病など豫防する上に於て多大の効があることであります

電話賣買　萬年社　京城明治町一丁目　電話一八四四番

◈新春の履物

本年の流行

履物も大分價があがつてゐます、駒下駄ならば小町か兩縫になりますが高さは八分から一寸位のところ意氣向になりますと中をこつて六分位のところです、表は

△桐の柾目が　細かいほど歡迎され八本から十三本ほどのところがよく出ます、南部の臺付は一圓六七十錢乃至二圓五六十までであり鎌塗り、黑塗り、ため塗り、朱塗りなどいろ／＼好みの塗りがあります、鼻緒は今のところ無地か無地輪天鵞絨に刺繍を施したもの色は黑、桔梗、赤金紗、繻子色、藤紫、などが多く縞や模様ものは一寸飽かれ氣味です

△草履の上等　はフェルトの四五枚重ねになり南部表の上物をつけ鼻緒は本天鵞絨の無地みすけて三圓から四圓止まり、フェルト二枚重ねで二圓內外、ゴム底ですと一圓九十錢から二圓五六十錢であります、鼻緒子や般子の表にりで共鼻緒つきのフェルトになりますと三圓から四圓まで少し刺繍が凝つてゐれば七八圓にも上ります、東下駄は桐の一寸高から一寸二三分のところが喜ばれ

△南部表の上　等の無地鼻緒の鼻緒がついて二圓から三圓前後、これにはお花の爪皮にセルロイド裏附きのものが添はります、お嬢ちやんたちによいのは朱塗の小町に南部表の金蒔繪花もやうに赤地しゆちんの華やかな型これと三圓乃至四圓位草履もフェルト赤地厚板金締入の表共鼻緒つきで三圓五六十錢の見當が格好向きです

◈暮の料理

手數のかからぬものを

これから暮れ間近になつてだん／＼忙しくなりますと、安價で滋養の多い、然もあまり手數のかからないお料理がよいのですがあの

△滋養の多い　納豆などをも少し旨しくして頂く方法はないかといろいろに工夫して見ました結果この頃では朝賣りに來たのを買つて味に淋つけておき、お夕飯のお菜にいたしますと大變旨しく頂けるといふことを發見しました。頂く時には辛子とお醤油と花鰹とを少々かけて頂きますとアッサリして、しつッこくなく誠に旨しく頂けます。納豆に生雞卵をかけて食がる方もありますが、比べて見ますと

△味淋漬け　の方が數等味がよく、老人にも子供にも大變よろこばれます。それから納豆にはお豆腐を添へて頂くと消化上よろしいさうですから、私共では納豆のおかずの時にはお豆腐のお汁を拵へて頂きます。それから數の子の四升漬も宜しいと思ひます。十二月の中頃に、ごく上等に乾した數の子を選び叮嚀に洗つてほぐつ

△その數の子が　三合でしたら、麹もお酒もお醤油も三合づゝつまり四種とも同じ分量に漬けますので四升漬と申しますがこれはよほど大きな瓶につけておきませんと、漬かるに從つて膨が増して來ますから、そのつもりで初めから瓶のゆとりを見ておき、漬けこんでから、固く口へ目張りをしておき、お正月になつてから出してお魚の調なり

△御飯のお菜　なりにして頂きますと齒切れがよくてそれは結構です。お魚の少い二月頃のために澤山拵へておきますと、喉が締れし一層美味を增します。

◈酒漬豆腐

豆腐は能く水を切り更に布巾に包みて念入に水氣を吸はせ之を酒の中に浸し置き一夜位にて取出し若し葛餡をかけおろし生姜をかけて出す、若し此酒豆腐が出來ない時は豆腐の水を切り串にさして火にかけ水氣を去つた後に酒ばかりで煮て熱くなつた處を醤油をかけて食ます藥味は花鰹節、おろし大根を添ます

[illegible]

◎かきのしほから　◎かきの佃煮　◎栗　駒宮最適品　內地へ御送りの方には當方にて荷造りを完全に致します　京城旭町一丁目　電話一八五二番　玄武堂

□火鉢　五の日十の日會

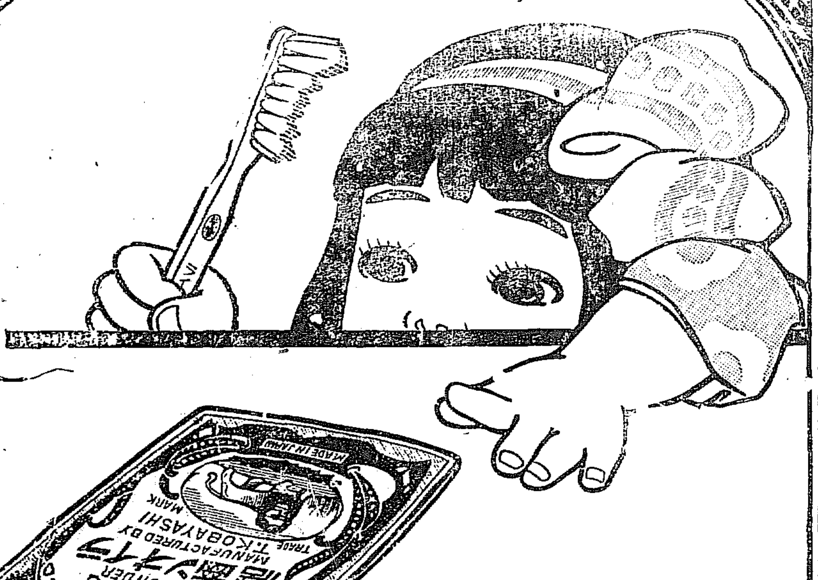
○　阿岐良
火鉢知るまじきこゝごと花しいかな
火鉢の灰をかく夜深の黑髪匂はんぞ

○　宙宇
夜深か火鉢から心安う目遣る子の寐顔

○　鳥堂
大火鉢に惜り惜しむもの眼にあるこ
待たれ火鉢の火のいかつてあるこご

○　不孝郎
朝の掃除火鉢が並んで打明けた話
火鉢離れんとす女をかなしむ眠だ

―一二〇―



私ん家では
お父さんもお母さんも
お兄さんもお姉さんも
みんな
ライオン歯磨を
使ふのよ。

△大正八年當用日記半額提供
本舗及市內著名書店にて發賣
あらゆる日記類の長所美點を綜合して、最も斬新なる形式に、最も豐富なる內容（附錄）附哀で三百頁以上の立派なエンサイクロペヂアを盛りたる高尚便利な新式日記（定價一圓五十錢）

東京市本所區外手町　ライオン歯磨本舗　ライオン石鹸　株式會社小林商店　支店 大阪

(1018-7)

ベルベット石鹸

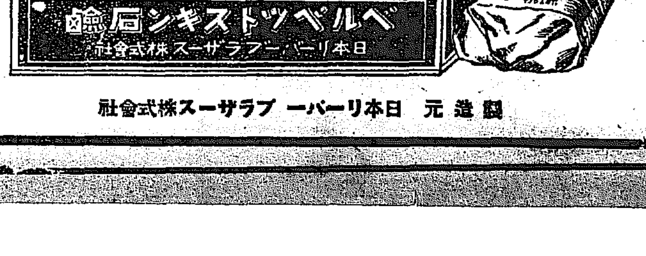
平和の歳暮迫る！

◎怜悧なる主婦は、假令壹尺の布を購ふにも、壹本の花を求むるにも、財布の口を開く前に、先づ品其物に就て篤と研究する、故に――

◎怜悧なる主婦は、最も廉なる代價で、量のある、品質のよい、然も贈る相手方に充分滿足を與へ得るものを求め得るのである、故に――

◎怜悧なる主婦の、眼と、鼻と、頭とは、凡ての人の皮膚を天鵞絨化するベルベット石鹸に向つて動き、そを得ざれば止まぬのである、故に――

◎怜悧なる主婦は、無駄なる費用を節約し得る許りでなく贈物を受くる相手方を喜ばしめ、同時に、己れ自身も快感を覺ゆるのである。



製造元　日本リーバーブラザース株式會社

▲軍隊拂下被服類▼
京城府北米倉町　電話千百十二番　村上商店
營業品目　絨服、茶用具、防寒用具、馬具用品、外套各種、襦袢袴下、改造洋服、作業用小倉服、靴下、手袋、毛布、堅牢靴各種、其他軍用品一式

產科　婦人科　二宮醫院　電話一二〇一　醫學士　二宮亮吉

品質　銘酒瓶詰之一大權威
第一　全道各地之需要激增

大阪府堺町　宅合名會社　攝津灘工場今津町